

第3章 第1号被保険者調査

章目次

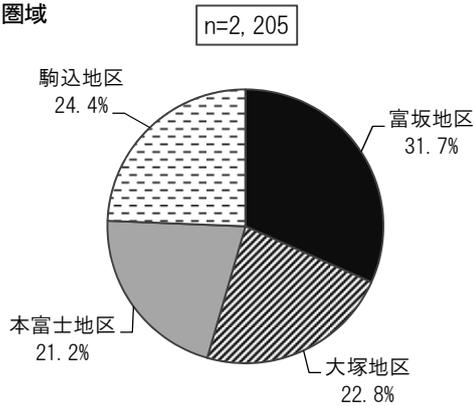
1 対象者自身、家族や暮らしについて.....	45
圏域.....	45
F 1 性別、年齢（平成 28 年 10 月 1 日現在）.....	45
F 2 一緒に住んでいる人.....	46
F 2-1 【ひとり暮らし以外の方】同居の方は全員が 65 歳以上か.....	46
2 住まいについて.....	48
問 1 住まいの形態.....	48
問 2 現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まい だと思うか.....	48
問 3 住まいについて不便や不安を感じていること.....	49
3 日常生活について.....	51
問 4 自分にあてはまること ①歩行や移動、転倒 ②食事・栄養、口の健康.....	51
問 5 現在の生活で不安に感じていること.....	53
問 6 日常生活の中で相談する相手.....	55
4 高齢者あんしん相談センターについて.....	56
問 7 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度.....	56
5 健康・介護予防について.....	57
問 8 現在の健康状況.....	57
問 9 健康の維持・増進や介護予防のため、現在取り組んでいること.....	58
問 9-1 【取り組んでいる方】取り組みを始めたきっかけ.....	58
問 9-2 【健康の維持・増進などに取り組んでいない方】取り組んでいない主な理由.....	62
問 10 健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいこと.....	63
6 医療について.....	66
問 11 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無.....	66
問 12 1 年間に医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた回数.....	67
問 12-1 【訪問治療を受けた方】訪問治療（往診）を受けた科目.....	67
7 認知症について.....	68
問 13 認知症のケアや支援制度について知っていること.....	68
問 14 認知症に関して相談する場合に利用すると思う相談窓口.....	69
問 15 認知症に関する区の事業について知っていること.....	70

8 介護等について	71
問 16 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	71
問 17 介護が必要になった場合に希望する暮らし方	73
問 18 終末期を迎える場所の希望	75
問 18-1 【自宅を希望する方】自宅で最期まで療養するために必要なこと	76
問 19 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと	77
高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと「その他」 (自由記述)	80
9 就業について	82
問 20 現在の就労状況と今後の就労意向	82
問 20-1 【就労意向のある方】希望する働き方	83
問 20-2 【就労意向のある方】仕事をしたい(し続けたい)理由	84
10 地域とのつながり・地域活動について	85
問 21 参加してみたい、興味があるボランティア活動	85
問 22 参加してみたい、興味がある活動団体やグループ	87
問 23 定期的に参加している活動団体やグループ	87
問 23-1 【参加している方】参加している活動を始めたきっかけ	89
問 23-2 【参加していない方】現在活動団体やグループに参加していない理由	90
11 災害について	92
問 24 災害に関して不安に感じていること	92
問 25 災害発生時に備えて行っていること	94

1 対象者自身、家族や暮らしについて

圏域

図表 3.1 圏域

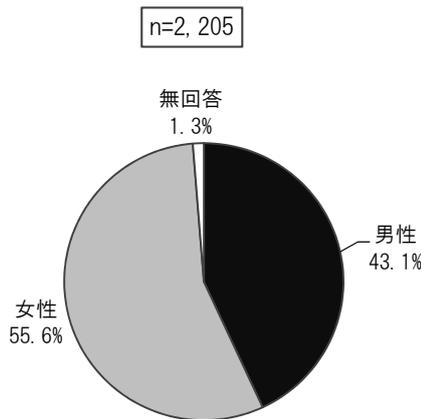


圏域は、「富坂地区」31.7%、「大塚地区」22.8%、「本富士地区」21.2%、「駒込地区」24.4%となっています。

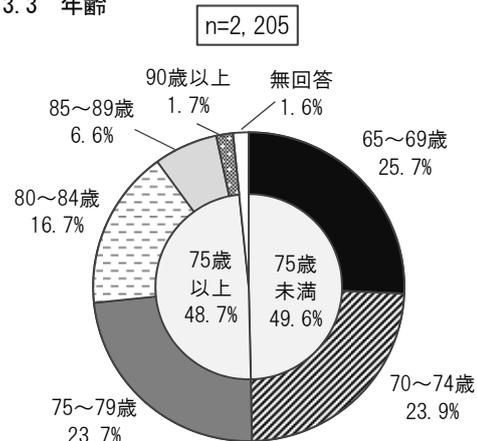
F 1 性別、年齢（平成 28 年 10 月 1 日現在）

性別は、「男性」43.1%、「女性」55.6%となっており、「女性」が高くなっています。
 年齢は、「65～69歳」25.7%、「70～74歳」23.9%、「75～79歳」23.7%、「80～84歳」16.7%、「85～89歳」6.6%、「90歳以上」1.7%となっており、「75歳未満」と「75歳以上」でほぼ半数ずつとなっています。

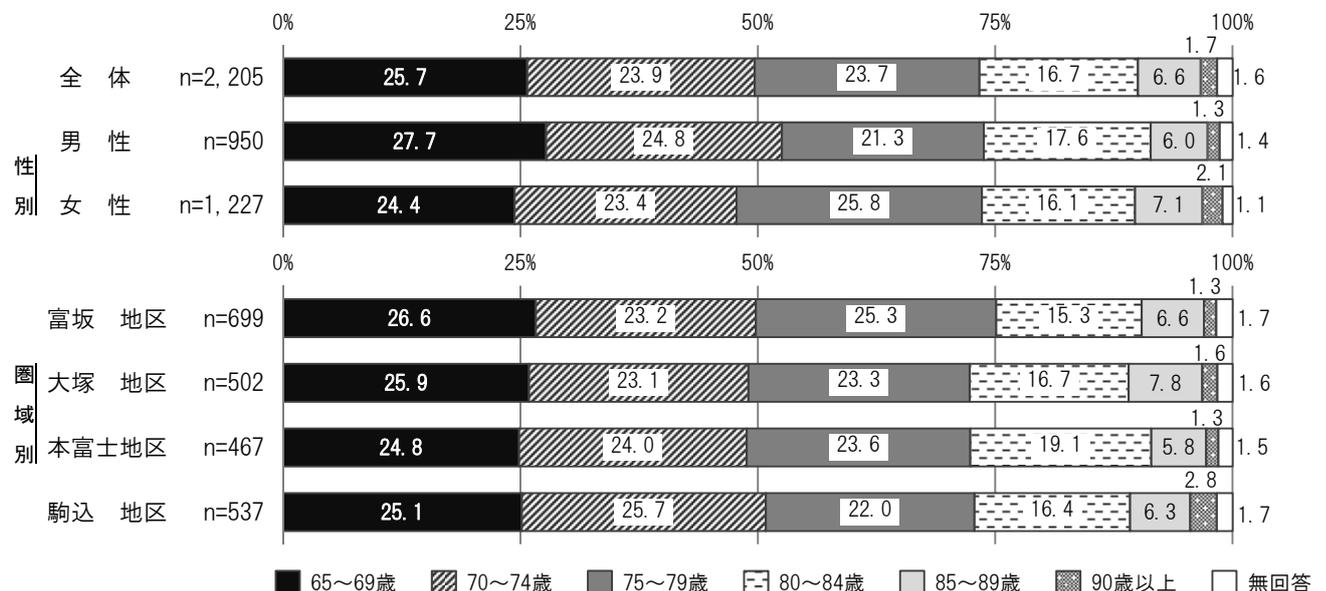
図表 3.2 性別



図表 3.3 年齢



図表 3.4 年齢/性別/圏域別



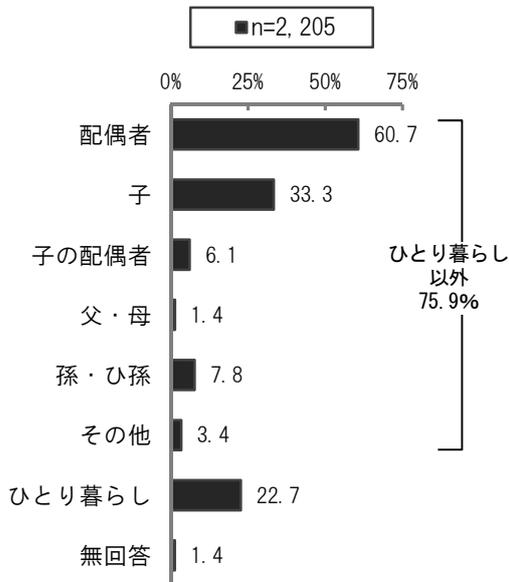
F2 一緒に住んでいる人

F2-1 【ひとり暮らし以外の方】同居の方は全員が65歳以上か

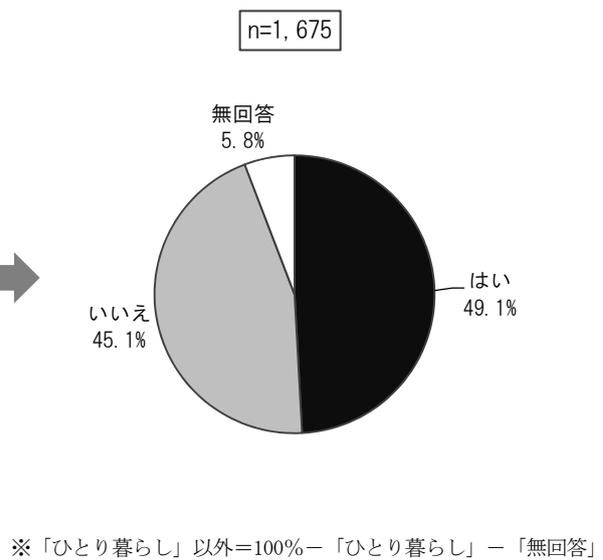
同居者は、「配偶者」が60.7%、「子」が33.3%となっており、「ひとり暮らし」が22.7%となっています。「ひとり暮らし」以外の方で、同居者全員が65歳以上である割合は、49.1%となっています。

年齢別にみると、「65～84歳」は「配偶者」との同居が50%を超え、「85歳以上」は「ひとり暮らし」が30%を超えています。

図表 3.5 同居者（複数回答）



図表 3.6 【ひとり暮らし以外】同居者全員が65歳以上であるか



※その他【抜粋】

- ・ 兄 ・ 妹 ・ 姉 ・ 兄夫婦 ・ 友人 ・ 主人の妹 ・ 配偶者の親族 ・ 配偶者の子

図表 3.7 同居者（複数回答）/年齢別

単位：%

項目	回答者数 (人)	配偶者	子	子の配偶者	父・母	孫・ひ孫	その他	ひとり暮らし	無回答	
全体	2,205	60.8	33.3	6.2	1.4	7.7	3.3	22.7	1.4	
年齢別	65～69歳	567	69.1	34.7	6.0	3.2	6.5	2.8	19.8	0.7
	70～74歳	528	66.1	32.6	4.2	1.9	6.8	3.8	19.5	0.8
	75～79歳	522	59.8	37.4	6.9	0.6	9.4	3.4	21.3	1.3
	80～84歳	368	56.5	29.1	8.2	0.0	8.2	2.7	26.9	1.6
	85～89歳	146	35.6	26.7	5.5	0.0	8.2	5.5	35.6	2.1
	90歳以上	38	18.4	42.1	15.8	0.0	13.2	2.6	39.5	2.6

世帯構成は、「夫婦のみ（全員 65 歳以上）」が 33.4%で最も高く、次いで「二世世代同居（いずれか 65 歳未満）」が 23.0%となっています。

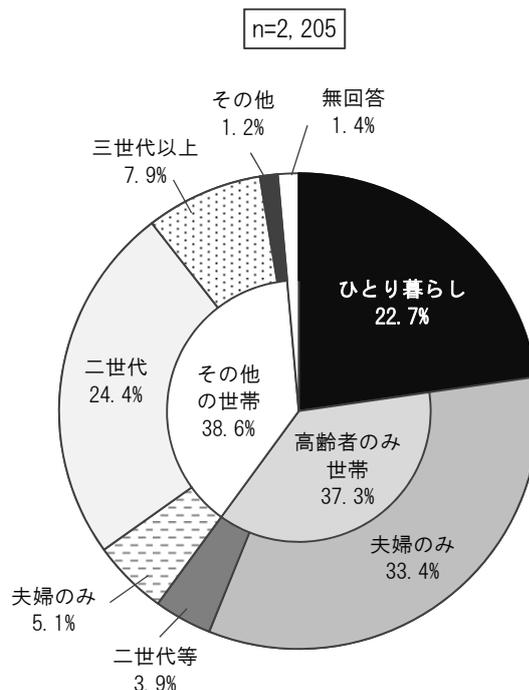
また、全員 65 歳以上の「高齢者のみ」世帯は全体の 60.1%、「夫婦のみ」世帯は 38.5%となっています。

図表 3.8 世帯構成（小分類）

	世帯構成		第1号	
			人数	%
1	ひとり暮らし	65 歳以上	500	22.7
2	夫婦のみ	全員 65 歳以上	736	33.4
3		いずれか 65 歳未満	58	2.6
4		年齢不明	55	2.5
5		全員 65 歳以上	26	1.2
6	子どもと二世世代同居	いずれか 65 歳未満	508	23.0
7		年齢不明	30	1.4
8		全員 65 歳以上	19	0.9
9	親と二世世代同居	いずれか 65 歳未満	1	0.0
10		年齢不明	0	0.0
11		全員 65 歳以上	4	0.2
12	三世代以上同居	いずれか 65 歳未満	165	7.5
13		年齢不明	9	0.4
14	その他	全員 65 歳以上	38	1.7
15		いずれか 65 歳未満	23	1.0
16		年齢不明	3	0.1
	無回答		30	1.4
	全 体		2,205	100.0

※全員 65 歳以上の世帯を網掛けしています。

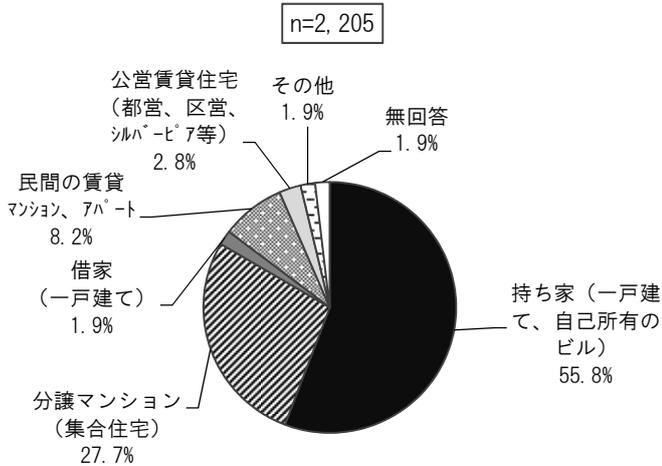
図表 3.9 世帯構成



2 住まいについて

問1 住まいの形態

図表 3.10 住居形態



住居形態は、「持ち家」が55.8%で最も高く、「持ち家」と「分譲マンション」を合わせると83.5%となっています。

圏域別にみると、「持ち家」の割合は「駒込地区」が63.9%で最も高くなっています。

※その他【抜粋】

- ・社宅 ・持ち家アパート ・兄の所有ビル
- ・社員寮 など

図表 3.11 住居形態/圏域別

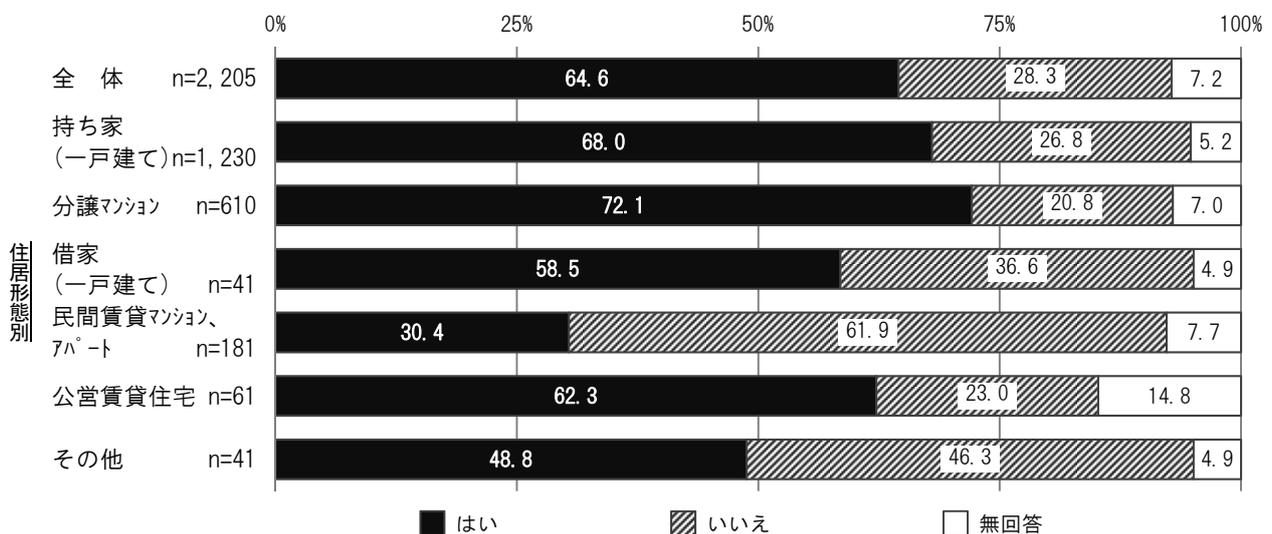
単位：%

項目	回答者数 (人)	持ち家 (一戸建て、自己所有のビル)	分譲マンション (集合住宅)	借家 (一戸建て)	民間賃貸マンション、アパート	公営賃貸住宅 (都営、区営、シルバー等)	その他	無回答	
全体	2,205	55.8	27.7	1.9	8.2	2.8	1.9	1.9	
圏域別	富坂 地区	699	50.9	32.9	1.3	8.9	2.4	1.6	2.0
	大塚 地区	502	55.0	27.7	2.8	8.4	1.6	2.4	2.2
	本富士地区	467	54.6	28.5	2.1	6.4	4.1	1.9	2.4
	駒込 地区	537	63.9	20.1	1.5	8.8	3.2	1.7	0.9

問2 現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいだと思いか

現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられる住まいかについて、住居形態別にみると、「はい」の割合は「分譲マンション」が72.1%で最も高く、次いで「持ち家」が68.0%、「公営賃貸住宅」が62.3%となっています。

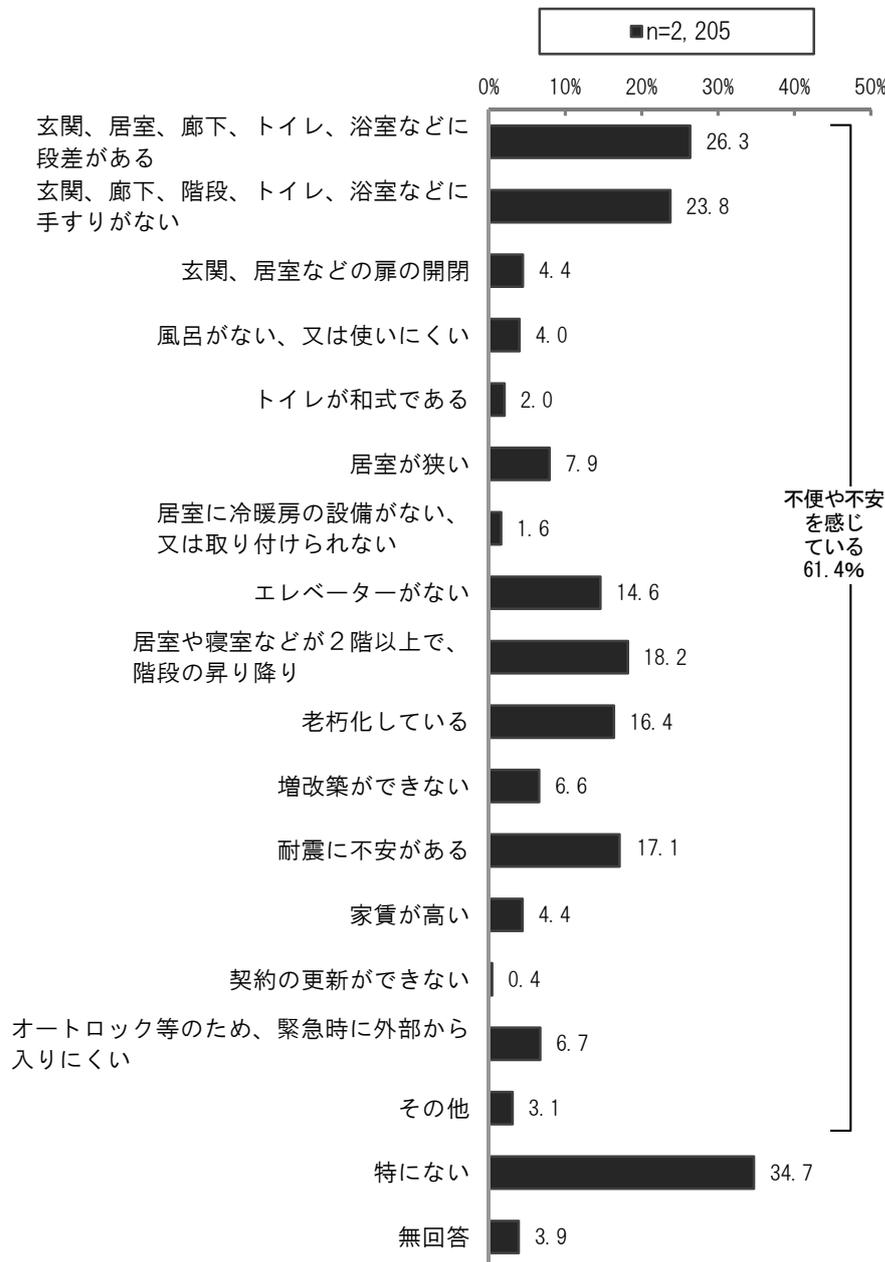
図表 3.12 今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられる住まいか/住居形態別



問3 住まいについて不便や不安を感じていること

住まいについて不便や不安を感じている割合は61.4%で、「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」が26.3%で最も高く、次いで「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」が23.8%、「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降り」が18.2%となっています。

図表 3.13 住まいについて不便や不安を感じていること（複数回答）



※「不便や不安を感じている」=100%－「特にない」－「無回答」

※その他【抜粋】

- ・4Fまでが階段のため
- ・窓の掃除ができない。
- ・ポストが居室にない。
- ・浴室が2階
- ・固定資産税が高く維持できない。
- ・緊急時に外から入りにくい。
- ・私道のため救急車が入りにくい。
- ・不要になった物の処理、整理 など

住まいについて不便や不安を感じていることを住居形態別にみると、いずれも「玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」が上位となっていますが、「持ち家」は「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降り」が28.5%で2番目に高く、「民間賃貸マンション、アパート」は「家賃が高い」が39.2%で最も高くなっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は「特にない」が49.7%となっており、「健康ではない」、「あまり健康ではない」と思う人より約30ポイント高くなっています。

図表 3.14 住まいについて不便や不安を感じていること（複数回答）/住居形態別/健康感別 単位：%

項目	回答者数（人）	玄関、居室、廊下、トイレ、浴室などに段差がある	玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない	玄関、居室などの扉の開閉	風呂がない、又は使にくい	トイレが和式である	居室が狭い	居室に冷暖房の設備がない、又は取り付けられない	エレベーターがない	居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降り	
		全体	2,205	26.3	23.8	4.4	4.0	2.0	7.9	1.6	14.6
住居形態別	持ち家（一戸建て）	1,230	31.5	23.3	4.1	2.9	2.4	7.2	1.1	20.8	28.5
	分譲マンション	610	17.2	24.8	4.3	1.8	0.2	6.6	0.8	2.8	2.5
	借家（一戸建て）	41	39.0	26.8	9.8	4.9	0.0	9.8	0.0	4.9	19.5
	民間賃貸マンション等	181	27.6	32.6	7.2	16.6	5.0	18.2	7.7	18.2	10.5
	公営賃貸住宅	61	14.8	6.6	1.6	8.2	0.0	4.9	1.6	8.2	1.6
	その他	41	24.4	19.5	4.9	7.3	9.8	7.3	2.4	19.5	12.2
健康感別	とても健康	360	20.6	15.6	3.1	2.8	1.9	7.8	0.8	11.7	12.8
	どちらかといえば健康	1,343	25.4	22.5	3.8	3.6	1.8	6.6	1.3	14.4	18.2
	あまり健康ではない	312	33.0	32.4	6.4	6.1	3.2	13.8	2.6	17.9	21.5
	健康ではない	130	33.8	34.6	7.7	7.7	2.3	10.8	3.8	15.4	23.8

項目	回答者数（人）	老朽化している	増改築ができない	耐震に不安がある	家賃が高い	契約の更新ができない	オートロック等のため、緊急時に外部から入りにくい	その他	特にない	無回答	
		全体	2,205	16.4	6.6	17.1	4.4	0.4	6.7	3.1	34.7
住居形態別	持ち家（一戸建て）	1,230	19.5	7.7	20.1	0.2	0.2	2.0	3.1	33.7	3.3
	分譲マンション	610	10.2	3.3	11.5	1.1	0.0	16.7	2.3	42.0	2.8
	借家（一戸建て）	41	22.0	14.6	22.0	14.6	4.9	7.3	2.4	34.1	0.0
	民間賃貸マンション等	181	20.4	7.7	21.5	39.2	2.2	6.6	3.3	19.3	2.2
	公営賃貸住宅	61	9.8	4.9	8.2	14.8	0.0	6.6	4.9	42.6	4.9
	その他	41	12.2	7.3	7.3	2.4	0.0	4.9	9.8	31.7	2.4
健康感別	とても健康	360	12.2	2.8	11.7	3.6	0.0	4.4	3.1	49.7	3.1
	どちらかといえば健康	1,343	16.5	6.2	17.0	4.3	0.4	6.8	3.1	35.4	3.9
	あまり健康ではない	312	18.3	10.3	22.1	3.8	0.6	8.0	2.2	21.5	4.5
	健康ではない	130	22.3	11.5	26.2	9.2	0.8	7.7	5.4	20.0	4.6

※「健康感」は「問8 現在の健康状況」（p57）の回答結果です。

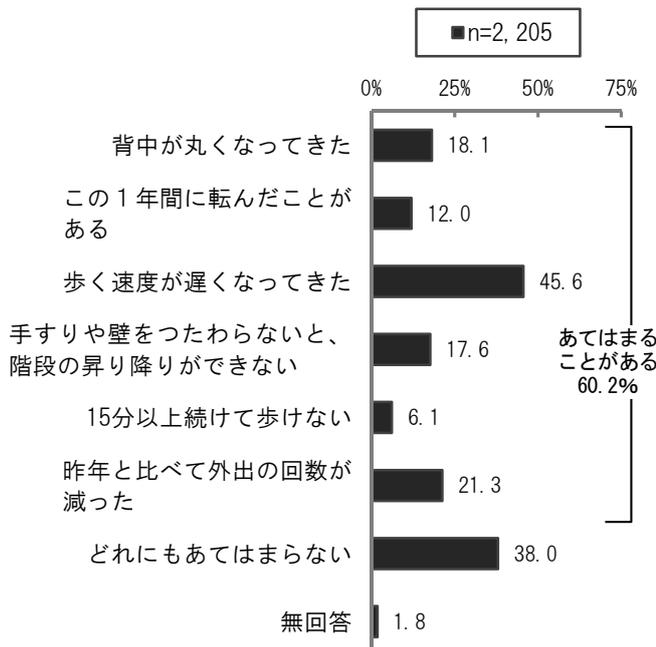
3 日常生活について

問4 自分にあてはまること ①歩行や移動、転倒 ②食事・栄養、口の健康

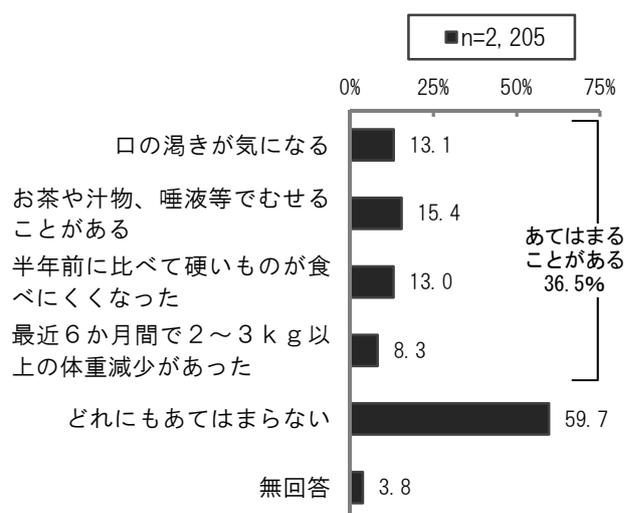
歩行や移動、転倒については、どれにもあてはまらない割合は、38.0%にとどまり、あてはまることのある割合は、60.2%となっています。あてはまることの中では、「歩く速度が遅くなってきた」が45.6%で最も高く、次いで「昨年と比べて外出の回数が減った」が21.3%、「背中が丸くなってきた」が18.1%となっています。

食事・栄養、口の健康については、どれにもあてはまらない割合は、5割を超えており、あてはまることのある割合は、36.5%となっています。あてはまることの中では、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が15.4%で最も高く、次いで「口の渇きが気になる」が13.1%となっています。

図表 3.15 ①歩行や移動、転倒（複数回答）



図表 3.16 ②食事・栄養、口の健康（複数回答）



※「あてはまることのある」=100%－「どれにもあてはまらない」－「無回答」

歩行や移動、転倒についてあてはまる割合を性別にみると、ともに「歩く速度が遅くなってきた」が最も高くなっており、「男性」が3.8ポイント高くなっています。「手すりや壁をつたわらないと、階段の昇り降りができない」は、「女性」が8ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「歩く速度が遅くなってきた」が最も高くなっており、年齢が上がるほど割合も高く、「80歳以上」では50%を超えています。

図表 3.17 ①歩行や移動、転倒（複数回答）/性別/年齢別 単位：%

項目		回答者数（人）	背中が丸くなってきた	この1年間に転んだことがある	歩く速度が遅くなってきた	手すりや壁をつたわらないと、階段の昇り降りができない	15分以上続けて歩けない	昨年と比べて外出の回数が減った	どれにもあてはまらない	無回答
全体		2,205	18.1	12.0	45.6	17.6	6.1	21.3	38.0	1.8
性別	男性	950	16.0	10.1	47.7	13.2	6.7	19.7	38.1	1.5
	女性	1,227	19.7	13.3	43.9	21.2	5.7	22.4	38.0	2.1
年齢別	65～69歳	567	12.5	8.6	30.9	8.5	2.6	14.5	51.7	1.4
	70～74歳	528	16.9	11.2	42.4	11.6	3.4	15.0	44.1	1.9
	75～79歳	522	16.9	12.1	48.9	17.2	6.3	22.6	35.2	2.5
	80～84歳	368	22.0	13.0	58.7	27.4	10.9	28.8	25.0	1.6
	85～89歳	146	30.1	21.9	60.3	39.7	11.6	34.9	14.4	2.1
	90歳以上	38	47.4	10.5	76.3	55.3	21.1	63.2	7.9	0.0

食事・栄養、口の健康についてあてはまる割合を性別にみると、ともに「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が最も高くなっています。

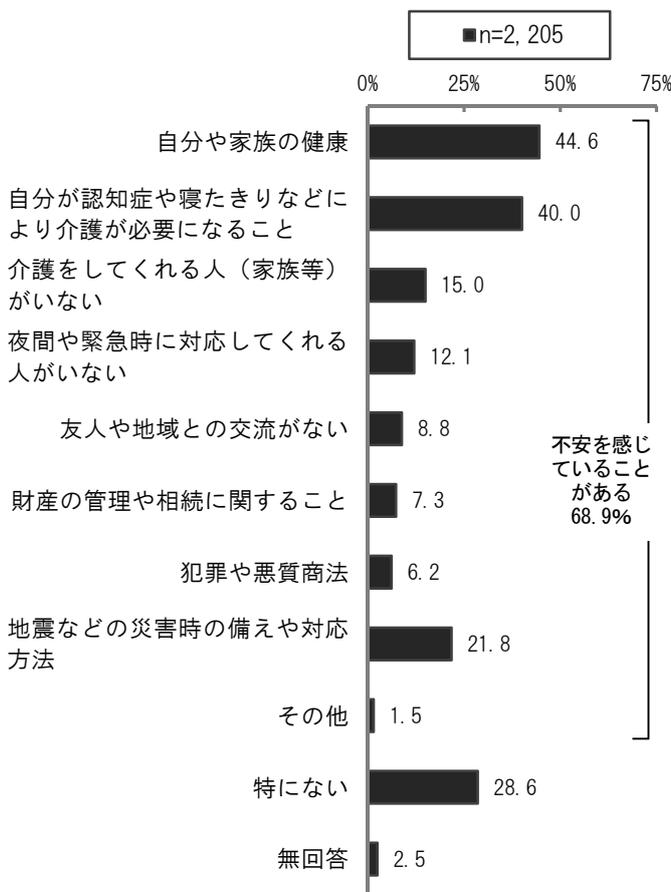
年齢別にみると、「65～79歳」及び「85～89歳」は、「お茶や汁物、唾液等でむせることがある」が高く、「80～84歳」は「口の渇きが気になる」、「90歳以上」は「半年前に比べて硬いものが食べにくくなった」が高くなっています。

図表 3.18 ②食事・栄養、口の健康（複数回答）/性別/年齢別 単位：%

項目		回答者数（人）	口の渇きが気になる	お茶や汁物、唾液等でむせることがある	半年前に比べて硬いものが食べにくくなった	最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった	どれにもあてはまらない	無回答
全体		2,205	13.1	15.4	13.0	8.3	59.7	3.8
性別	男性	950	11.9	16.0	14.3	8.6	60.1	3.1
	女性	1,227	13.9	14.8	11.9	8.0	59.7	4.4
年齢別	65～69歳	567	9.0	12.0	7.9	4.6	68.6	3.4
	70～74歳	528	12.7	13.4	12.3	7.0	61.2	4.5
	75～79歳	522	12.3	17.0	14.0	6.9	59.6	3.8
	80～84歳	368	17.1	16.8	15.5	12.0	53.5	4.3
	85～89歳	146	21.2	23.3	17.8	19.2	45.9	2.1
	90歳以上	38	18.4	26.3	39.5	15.8	31.6	0.0

問5 現在の生活で不安に感じていること

図表 3.19 生活上の不安（複数回答）



現在の生活で不安を感じていることがある割合は68.9%で、「自分や家族の健康」が44.6%で最も高く、次いで「介護が必要になること」が40.0%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が21.8%となっています。

性別にみると、「男性」は「自分や家族の健康」が46.6%で最も高く、「女性」は「介護が必要になること」が45.2%で最も高く、「男性」より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「自分や家族の健康」、「介護が必要になること」が上位となっていますが、「85～89歳」は「介護をしてくれる人がいない」が24.0%、「90歳以上」は「友人や地域との交流がない」が21.1%となっており、他の年代より高くなっています。

「不安を感じていることがある」=100%－「特にない」－「無回答」

※その他【抜粋】

- ・友達が1人もいないこと
- ・一人暮らしになった場合の不安
- ・治安
- ・生活費のこと、保険料のこと など

図表 3.20 生活上の不安（複数回答）/性別/年齢別

単位：%

項目	回答者数（人）	自分や家族の健康	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護をしてくれる人（家族等）がない	夜間や緊急時に対応してくれる人がいない	友人や地域との交流がない	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法	地震などの災害時の備えや対応方法	その他	特にない	無回答	
		全体	2,205	44.6	40.0	15.0	12.1	8.8	7.3	6.2	21.8	1.5	28.6
性別	男性	950	46.6	33.5	11.6	9.2	9.4	8.5	4.8	20.8	1.1	30.9	2.1
	女性	1,227	43.0	45.2	17.7	14.3	8.4	6.4	7.2	22.2	1.9	26.7	2.9
年齢別	65～69歳	567	43.2	33.9	12.7	10.2	7.1	9.7	5.1	21.0	2.1	33.0	1.8
	70～74歳	528	46.6	38.8	13.3	10.4	9.7	7.6	4.7	22.2	0.9	28.0	2.5
	75～79歳	522	45.8	44.8	14.9	12.1	9.0	7.1	7.1	21.8	1.9	25.3	2.9
	80～84歳	368	41.8	42.4	17.1	14.1	7.9	6.8	7.1	20.1	0.5	28.0	3.3
	85～89歳	146	43.8	45.9	24.0	16.4	9.6	1.4	6.8	24.7	2.1	27.4	2.1
	90歳以上	38	47.4	47.4	15.8	15.8	21.1	2.6	15.8	31.6	2.6	21.1	2.6

生活上の不安を世帯構成別にみると、いずれも「自分や家族の健康」、「介護が必要になること」が上位となっていますが、「ひとり暮らし」世帯は「介護をしてくれる人がいない」、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいない」が30%を超え、他の世帯より高くなっています。また、「特にない」割合は「ひとり暮らし」、「夫婦のみ(65歳以上)」、「二世帯等(全員65歳以上)」世帯が20%台となっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は「特にない」割合が55.8%となっており、「健康でない」、「あまり健康ではない」と思う人より40ポイント以上高くなっています。

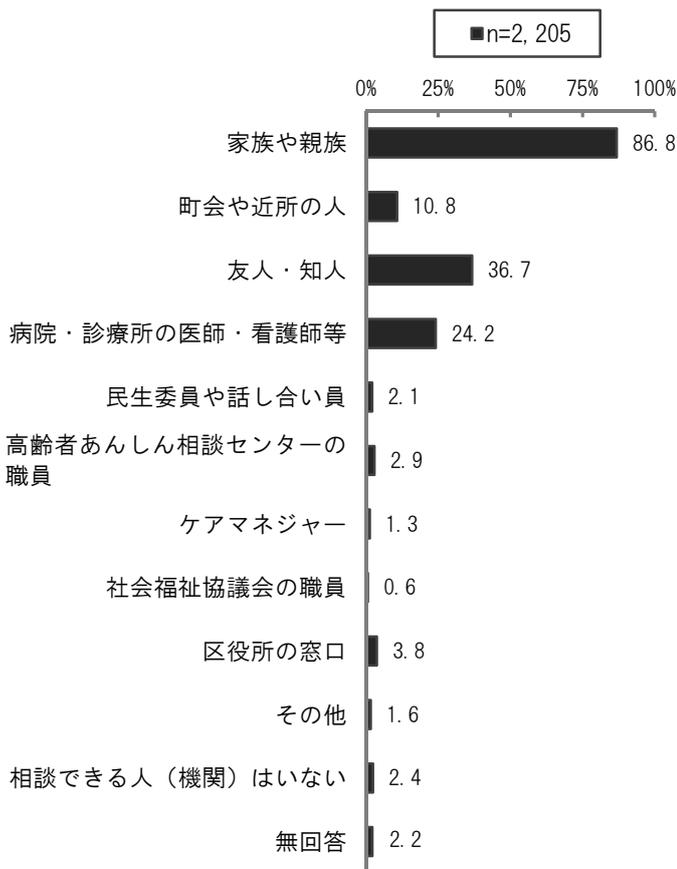
図表 3.21 生活上の不安(複数回答)/世帯構成別/健康感別

単位：%

項目	回答者数(人)	自分や家族の健康	自分が必要になること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいない	夜間や緊急時に対応してくれる人がいない	友人や地域との交流がない	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法	地震などの災害時の備えや対応方法	その他	特にない	無回答
全体	2,205	44.6	40.0	15.0	12.1	8.8	7.3	6.2	21.8	1.5	28.6	2.5	
世帯構成別	ひとり暮らし	500	22.4	47.2	34.8	32.8	10.8	6.8	6.2	20.8	2.6	27.4	2.6
	夫婦のみ(65歳以上)	736	55.7	38.7	11.5	8.7	8.8	8.4	6.7	22.3	1.0	25.3	2.0
	二世帯等(全員65歳以上)	87	57.5	43.7	16.1	10.3	11.5	3.4	4.6	21.8	2.3	23.0	2.3
	夫婦のみ(いずれか65歳未満ほか)	113	38.9	26.5	9.7	3.5	8.8	4.4	5.3	17.7	3.5	37.2	6.2
	二世帯(いずれか65歳未満ほか)	539	48.6	36.5	5.8	2.6	7.2	7.1	5.8	22.3	0.6	31.9	2.6
	三世帯以上(いずれか65歳未満ほか)	174	52.9	43.1	4.0	1.7	5.2	9.8	6.9	23.6	1.7	30.5	1.1
	その他(いずれか65歳未満ほか)	26	34.6	46.2	11.5	3.8	15.4	3.8	11.5	30.8	0.0	34.6	0.0
健康感別	とても健康	360	22.5	20.0	6.7	4.4	1.7	5.8	2.5	12.2	2.8	55.8	2.2
	どちらかといえば健康	1,343	44.8	39.9	14.1	11.9	7.8	7.1	6.2	22.5	1.2	27.5	2.5
	あまり健康ではない	312	63.1	56.1	24.0	18.3	17.9	9.3	9.6	28.5	1.3	10.3	1.6
	健康ではない	130	66.2	57.7	23.8	18.5	15.4	9.2	8.5	26.9	1.5	9.2	2.3

問6 日常生活の中で相談する相手

図表 3.22 相談相手（複数回答）



相談相手は、「家族や親族」が86.8%で最も高く、次いで「友人・知人」が36.7%、「病院・診療所の医師・看護師等」が24.2%となっています。

性別にみると、ともに「家族や親族」が最も高くなっています。

世帯構成別にみると、いずれも「家族や親族」が最も高くなっていますが、「ひとり暮らし」世帯は67.2%で、他の世帯より20ポイント以上低くなっています。また、「相談できる人はいない」は5.4%となっています。

※その他【抜粋】

- ・会社の同僚
- ・カウンセラー
- ・同じお稽古の仲間や先生 など

図表 3.23 相談相手（複数回答）/性別/世帯構成別

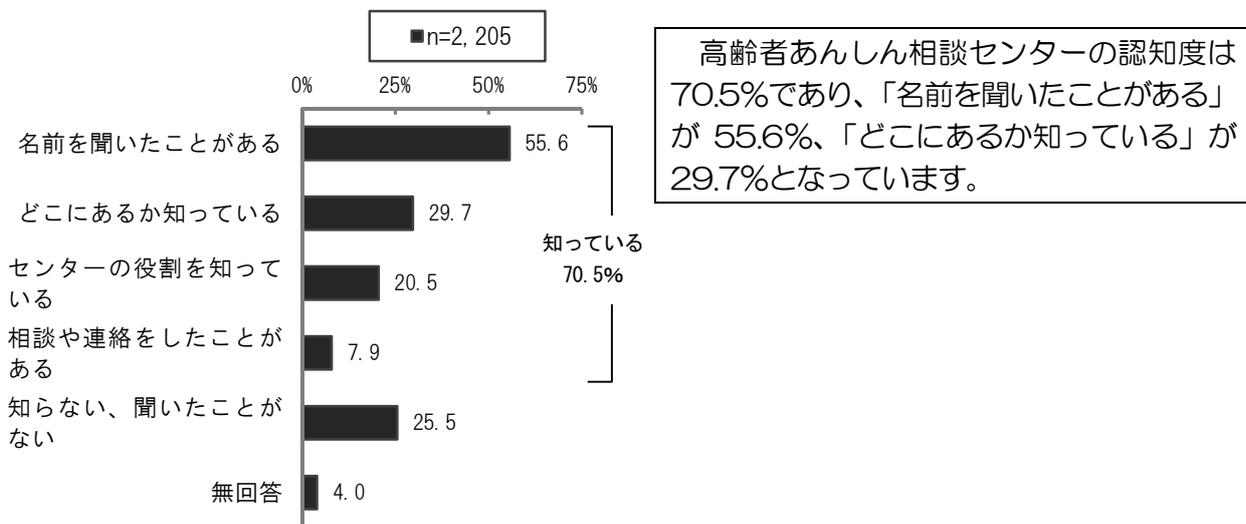
単位：%

項目	回答者数(人)	家族や親族	町会や近所の人	友人・知人	病院・診療所の医師・看護師等	民生委員や話し合い員	高齢者あんしん相談センターの職員	ケアマネジャー	社会福祉協議会の職員	区役所の窓口	その他	相談できる人（機関）はいない	無回答	
		全体	2,205	86.8	10.8	36.7	24.2	2.1	2.9	1.3	0.6	3.8	1.6	2.4
性別	男性	950	86.1	9.3	32.1	25.5	1.9	2.8	0.6	0.8	4.1	1.4	3.6	2.5
	女性	1,227	87.4	12.0	40.5	23.1	2.4	3.1	1.9	0.5	3.4	1.9	1.5	2.0
世帯構成別	ひとり暮らし	500	67.2	11.4	43.4	20.4	4.6	5.0	0.6	0.6	6.2	4.0	5.4	3.6
	夫婦のみ(65歳以上)	736	94.4	9.4	33.4	25.8	1.1	3.0	2.0	0.5	3.1	0.5	1.5	1.4
	二世帯等(全員65歳以上)	87	87.4	11.5	40.2	32.2	3.4	4.6	3.4	2.3	5.7	2.3	2.3	2.3
	夫婦のみ(いずれか65歳未満ほか)	113	88.5	8.0	20.4	17.7	0.9	0.0	1.8	0.0	2.7	0.0	3.5	1.8
	二世帯(いずれか65歳未満ほか)	539	92.9	12.2	38.2	26.0	1.3	2.0	1.1	0.7	2.8	1.1	1.1	2.0
	三世帯以上(いずれか65歳未満ほか)	174	94.3	13.2	38.5	26.4	1.1	0.6	0.0	0.0	2.3	1.7	0.6	1.7
	その他(いずれか65歳未満ほか)	26	88.5	3.8	30.8	19.2	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8

4 高齢者あんしん相談センターについて

問7 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

図表 3.24 高齢者あんしん相談センターの認知度（複数回答）



圏域別にみると、大きな差はみられません。

性別にみると、「男性」は「知らない、聞いたことがない」割合が 33.3%となっており、「女性」より 10 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、「65～69 歳」は「知らない、聞いたことがない」割合が 33.7%となっており、他の年代より高くなっています。一方、「80～84 歳」は「知らない、聞いたことがない」割合が 19.6%で最も低くなっています。

図表 3.25 高齢者あんしん相談センターの認知度（複数回答）/圏域別/性別/年齢別 単位：%

項目	回答者数 (人)	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答	
全体	2,205	55.6	29.7	20.5	7.9	25.5	4.0	
圏域別	富坂 地区	699	55.8	26.9	19.9	7.3	26.2	4.4
	大塚 地区	502	53.4	29.5	21.3	9.8	25.3	4.8
	本富士地区	467	57.8	28.9	19.1	7.1	26.1	2.6
	駒込 地区	537	55.5	34.3	21.8	7.8	24.4	3.9
性別	男性	950	50.4	24.4	16.2	5.5	33.3	4.4
	女性	1,227	59.5	33.8	24.0	9.8	19.5	3.7
年齢別	65～69 歳	567	52.2	22.0	16.0	7.1	33.7	3.0
	70～74 歳	528	59.3	29.9	19.5	6.6	24.8	3.0
	75～79 歳	522	56.7	32.0	23.6	7.9	22.4	4.2
	80～84 歳	368	55.7	38.6	23.6	9.2	19.6	5.2
	85～89 歳	146	54.1	30.1	23.3	10.3	21.9	6.8
	90 歳以上	38	47.4	31.6	26.3	15.8	26.3	5.3

5 健康・介護予防について

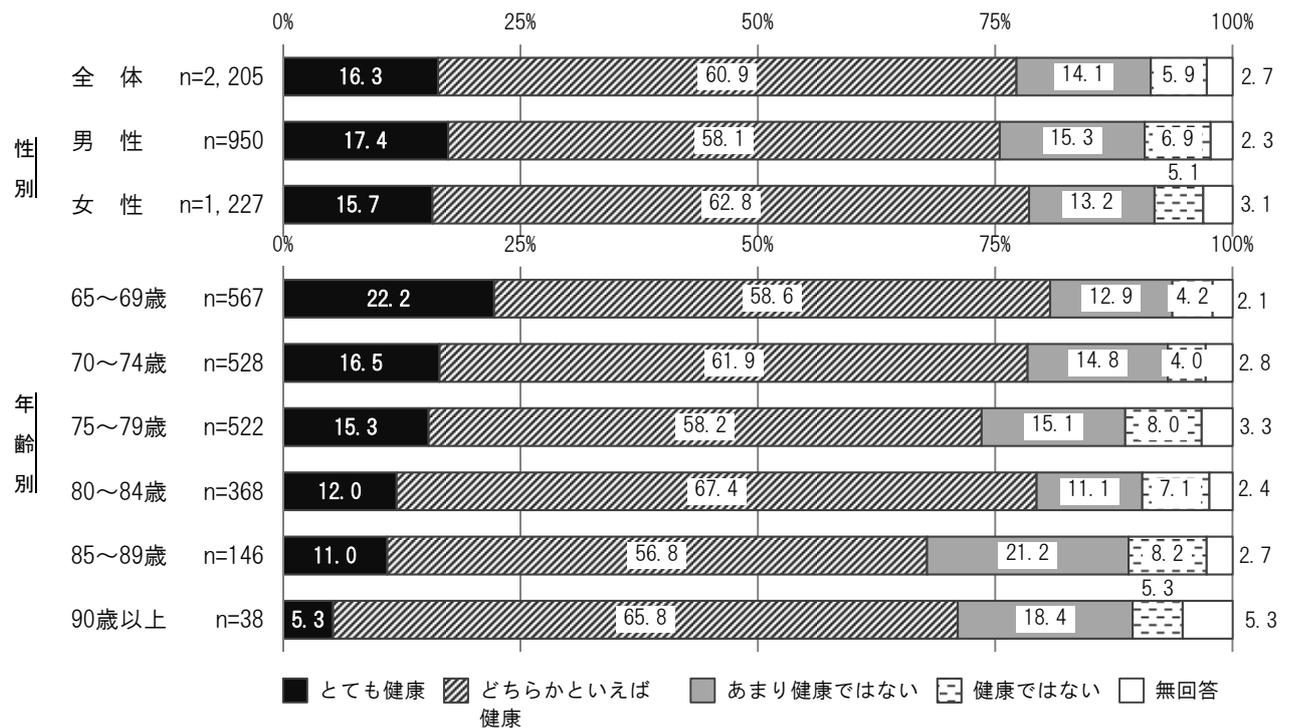
問8 現在の健康状況

主観的な健康感は、「どちらかといえば健康」と思う割合が60.9%で最も高く、「とても健康」と思う割合を合わせると77.2%となっています。

性別にみると、「とても健康」、「どちらかといえば健康」を合わせると「男性」が75.5%、「女性」が78.5%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「とても健康」と思う割合が低くなっています。

図表 3.26 主観的な健康感/性別/年齢別



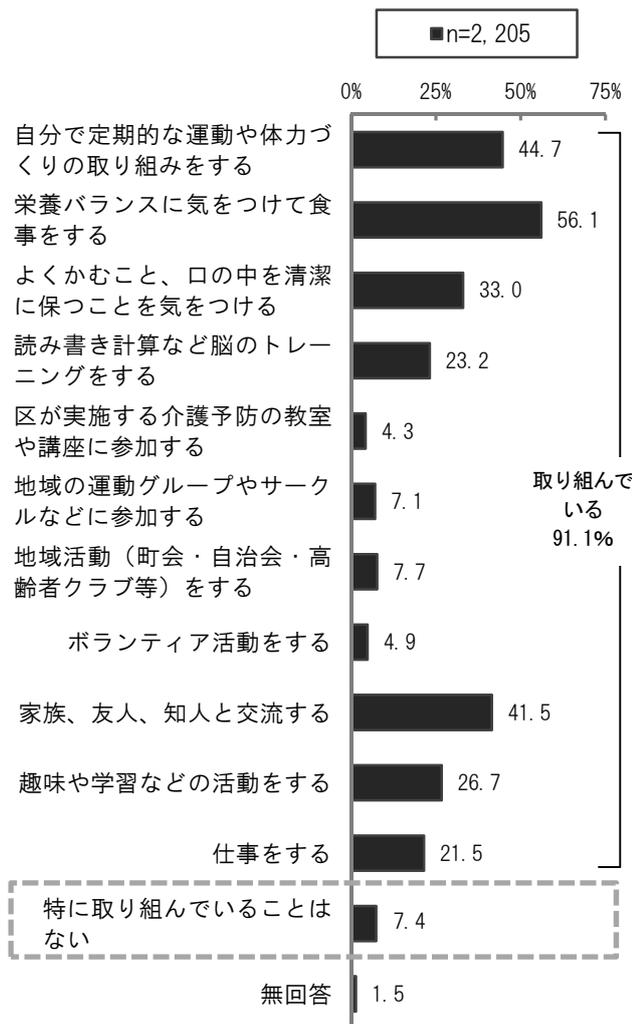
問9 健康の維持・増進や介護予防のため、現在取り組んでいること

問9-1【取り組んでいる方】取り組みを始めたきっかけ

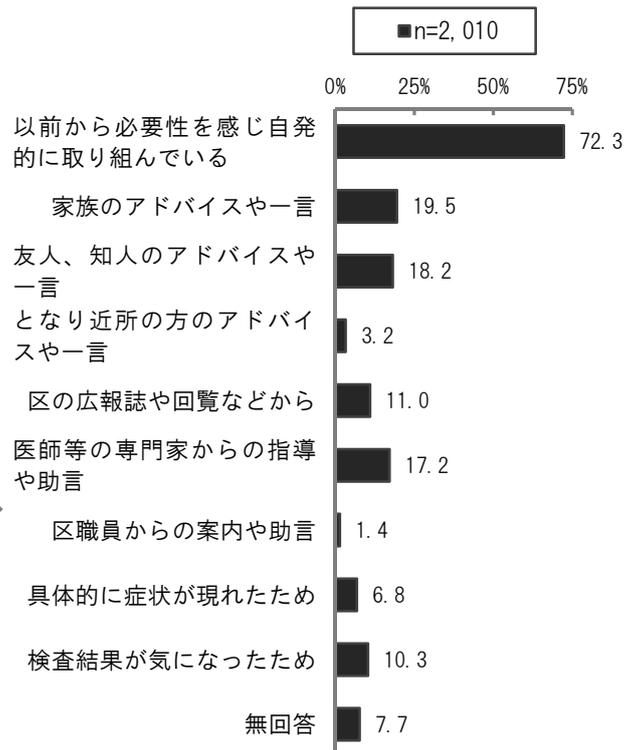
健康の維持・増進のために取り組んでいる割合は91.1%で、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が56.1%で最も高く、次いで「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が44.7%、「家族、友人、知人と交流する」が41.5%となっています。

取り組みを始めたきっかけは、「以前から必要性を感じ自発的に取り組んでいる」が72.3%で最も高く、次いで「家族のアドバイスや一言」が19.5%、「友人、知人のアドバイスや一言」が18.2%となっています。

図表 3.27 健康の維持・増進のために取り組んでいること
(3つ以内複数回答)



図表 3.28 取り組みを始めたきっかけ（複数回答）



問9-2へ

※「取り組んでいる」=100%－「特に取り組んでいることはない」－「無回答」

健康の維持・増進のために取り組んでいることを性別にみると、ともに「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、「男性」が47.9%、「女性」が62.3%で「女性」が10ポイント以上高くなっています。「家族、友人、知人と交流する」も「女性」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、「65～89歳」は「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、「90歳以上」は「読み書き計算など脳のトレーニングをする」が39.5%で最も高くなっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は96.1%が取り組みをしており、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が64.2%、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が63.6%と高くなっています。

図表 3.29 健康の維持・増進のために取り組んでいること（3つ以内複数回答）/性別/年齢別/健康感別 単位：%

項目	回答者数(人)	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	読み書き計算など脳のトレーニングをする	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の実施する運動グループやサークルなどに参加する	地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動をする	仕事をする	特に取り組んでいることはない	無回答
		44.7	56.1	33.0	23.2	4.3	7.1	7.7	4.9	41.5	26.7	21.5	7.4	1.5
全体	2,205	44.7	56.1	33.0	23.2	4.3	7.1	7.7	4.9	41.5	26.7	21.5	7.4	1.5
性別	男性	950	46.8	47.9	28.5	22.3	1.8	4.6	8.9	4.1	34.3	25.9	9.7	1.5
	女性	1,227	43.4	62.3	36.3	24.1	6.2	8.9	6.9	5.5	47.1	18.2	5.5	1.5
年齢別	65～69歳	567	47.1	54.3	24.3	19.2	2.8	4.8	6.7	5.5	41.6	31.9	7.6	1.1
	70～74歳	528	45.3	57.4	29.5	19.9	4.0	7.8	8.5	6.4	42.8	26.3	6.6	1.5
	75～79歳	522	46.4	57.7	39.1	24.7	4.8	6.7	7.9	4.6	39.8	16.5	7.5	1.5
	80～84歳	368	43.8	57.1	39.7	27.7	5.2	10.3	8.4	3.0	41.6	13.9	7.1	1.6
	85～89歳	146	35.6	53.4	38.4	28.1	7.5	3.4	7.5	4.1	45.9	7.5	8.2	2.1
	90歳以上	38	26.3	36.8	31.6	39.5	5.3	7.9	7.9	0.0	34.2	15.8	18.4	2.6
健康感別	とても健康	360	64.2	63.6	31.7	25.8	2.5	8.6	8.6	7.2	40.0	30.3	3.9	0.0
	どちらかといえば健康	1,343	44.8	56.7	32.5	23.5	5.2	7.3	7.7	4.4	44.6	21.0	6.3	0.4
	あまり健康ではない	312	32.1	53.5	38.5	22.4	3.2	4.8	8.3	5.8	37.8	17.3	12.2	0.6
	健康ではない	130	27.7	43.1	33.1	19.2	2.3	6.2	4.6	0.8	29.2	13.8	16.9	3.1

健康の維持・増進のために取り組んでいることを、①歩行や移動、転倒について該当項目別にみると、いずれも「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、「どれにもあてはまらない」人は、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が55.5%、「仕事をする」が26.1%で、あてはまることのある人より高くなっています。

②食事・栄養、口の健康について該当項目別にみると、いずれも「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、「どれにもあてはまらない」人は、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が47.2%で、あてはまることのある人より高くなっています。一方、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」は、あてはまることのある人のほうが高くなっています。

図表 3.30 健康の維持・増進のために取り組んでいること（3つ以内複数回答）

/①歩行や移動、転倒についてあてはまること（複数回答）別

/②食事・栄養、口の健康についてあてはまること（複数回答）別

単位：%

項目		回答者数（人）	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	読み書き計算など脳のトレーニングをする	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動をする	仕事をする	特に取り組んでいることはない	無回答	
全体		2,205	44.7	56.1	33.0	23.2	4.3	7.1	7.7	4.9	41.5	26.7	21.5	7.4	1.5	
①歩行や移動、転倒について	あてはまること（複数回答）															
	背中が丸くなってきた	400	37.3	56.3	34.3	25.5	6.0	7.5	6.3	5.0	40.8	25.0	19.8	6.5	1.5	
	1年間に転んだ	265	40.0	53.6	29.1	26.4	5.3	10.2	6.8	4.9	45.3	24.9	16.6	7.5	2.3	
	歩く速度が遅くなった	1,006	36.7	52.6	36.2	24.3	4.7	6.3	8.5	4.6	41.9	25.7	19.1	8.9	1.3	
	手すり等をつたって階段の昇降	389	35.0	54.8	40.6	27.5	4.9	8.5	8.7	2.3	42.4	24.7	15.4	8.0	1.3	
	15分以上続けて歩けない	135	28.1	52.6	37.8	32.6	3.7	5.9	5.9	3.7	37.0	20.0	17.0	11.9	2.2	
	昨年より外出回数が減少	469	30.3	53.9	38.2	25.2	5.3	6.2	5.3	3.0	38.6	19.4	13.2	11.3	2.6	
どれにもあてはまらない	838	55.5	59.5	30.9	21.4	3.1	7.3	7.3	5.5	42.7	28.4	26.1	6.2	1.3		
②食事・栄養、口の健康について	あてはまること（複数回答）															
	口の渇きが気になる	288	42.0	56.6	38.9	21.5	6.6	10.8	5.9	4.5	39.9	21.9	13.5	8.3	1.4	
	お茶等でむせることがある	340	43.5	55.0	37.9	28.2	5.6	8.2	7.6	3.2	42.1	28.2	18.8	6.5	0.6	
	硬いものが食べにくくなった	287	36.2	51.6	35.2	28.2	4.9	7.3	8.0	2.8	33.8	20.9	20.6	10.5	1.7	
	半年で2～3kg以上の体重減少	182	31.9	52.7	35.2	20.9	3.8	6.6	10.4	4.9	36.3	22.0	20.9	11.5	2.2	
どれにもあてはまらない	1,316	47.2	57.2	31.5	22.2	3.6	6.3	7.4	5.1	42.0	28.5	23.6	7.0	1.4		

取り組みを始めたきっかけを性別にみると、ともに「以前から必要性を感じ自発的に取り組んでいる」が最も高く、「家族のアドバイスや一言」は、「男性」が7.6ポイント以上高く、「友人、知人のアドバイスや一言」は「女性」が8.1ポイント、「区の広報誌や回覧などから」は「女性」が8.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「以前から必要性を感じ自発的に取り組んでいる」が最も高く、「65～69歳」が77.4%、「70～74歳」が74.0%で70%を超えています。

図表 3.31 取り組みを始めたきっかけ（複数回答）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数(人)	以前から必要性を感じ自発的に取り組んでいる	家族のアドバイスや一言	友人、知人のアドバイスや一言	となり近所の方のアドバイスや一言	区の広報誌や回覧などから	医師等の専門家からの指導や助言	区職員からの案内や助言	具体的に症状が現れたため	検査結果が気になったため	無回答
全体		2,010	72.3	19.5	18.2	3.2	11.0	17.2	1.4	6.8	10.3	7.7
性別	男性	844	73.0	23.9	13.6	2.1	5.8	19.2	1.3	7.0	11.1	7.0
	女性	1,142	71.7	16.3	21.7	4.0	14.7	15.7	1.6	6.7	9.7	8.1
年齢別	65～69歳	518	77.4	19.7	15.1	1.9	9.3	11.6	0.6	6.0	11.4	5.0
	70～74歳	485	74.0	15.1	17.9	2.3	9.9	19.2	1.4	7.4	11.5	8.9
	75～79歳	475	69.9	21.3	20.6	4.4	11.4	18.3	1.3	6.7	10.1	9.7
	80～84歳	336	68.8	21.4	17.6	4.2	13.4	19.0	1.5	5.4	7.7	7.4
	85～89歳	131	67.2	19.8	25.2	3.8	12.2	22.9	3.8	13.0	10.7	8.4
	90歳以上	30	63.3	36.7	10.0	3.3	23.3	20.0	10.0	0.0	6.7	3.3

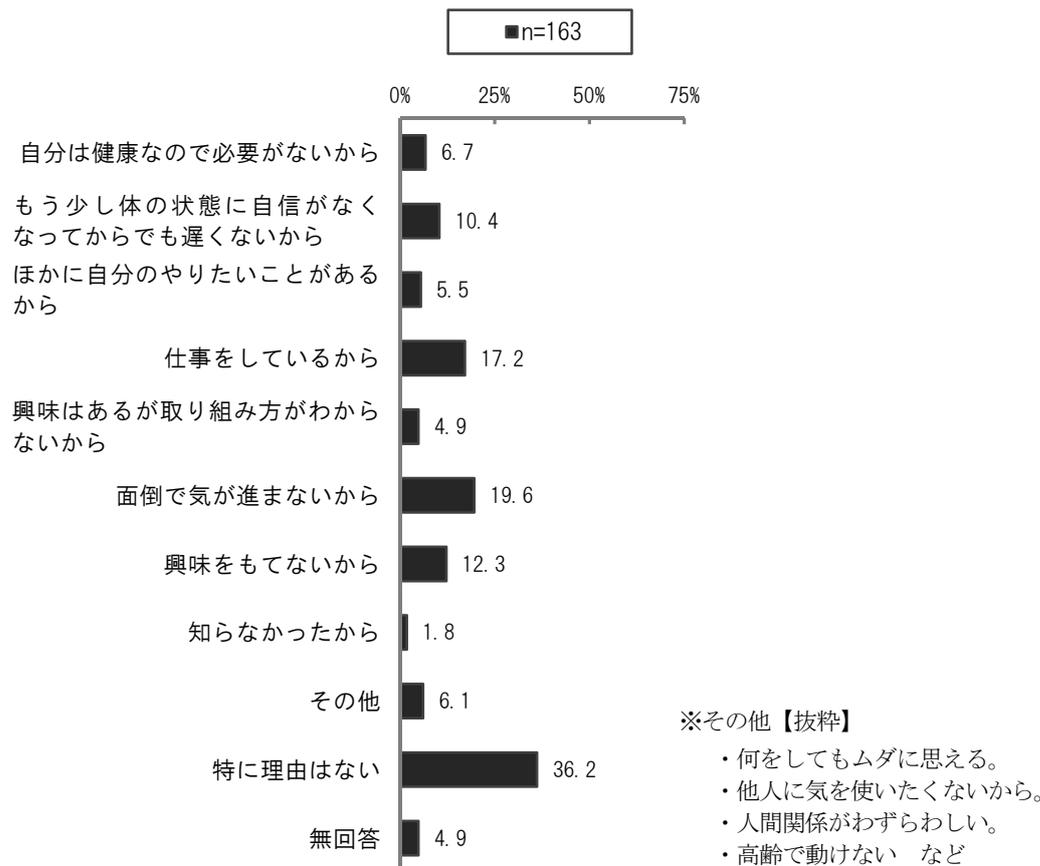
問9-2【健康の維持・増進などに取り組んでいない方】取り組んでいない主な理由

健康の維持・増進などに取り組んでいない理由は、「特に理由はない」を除くと「面倒で気が進まないから」が19.6%、「仕事をしているから」が17.2%、「興味をもてないから」が12.3%となっています。

性別にみると、「男性」は「仕事をしているから」が18.5%、「女性」は「面倒で気が進まないから」が23.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「70～74歳」、「80～89歳」は「面倒で気が進まないから」が最も高くなっています。また、「65～69歳」、「75～79歳」は「仕事をしているから」が最も高くなっています。

図表 3.32 取り組んでいない理由（3つ以内複数回答）



図表 3.33 取り組んでいない理由（3つ以内複数回答）/性別/年齢別

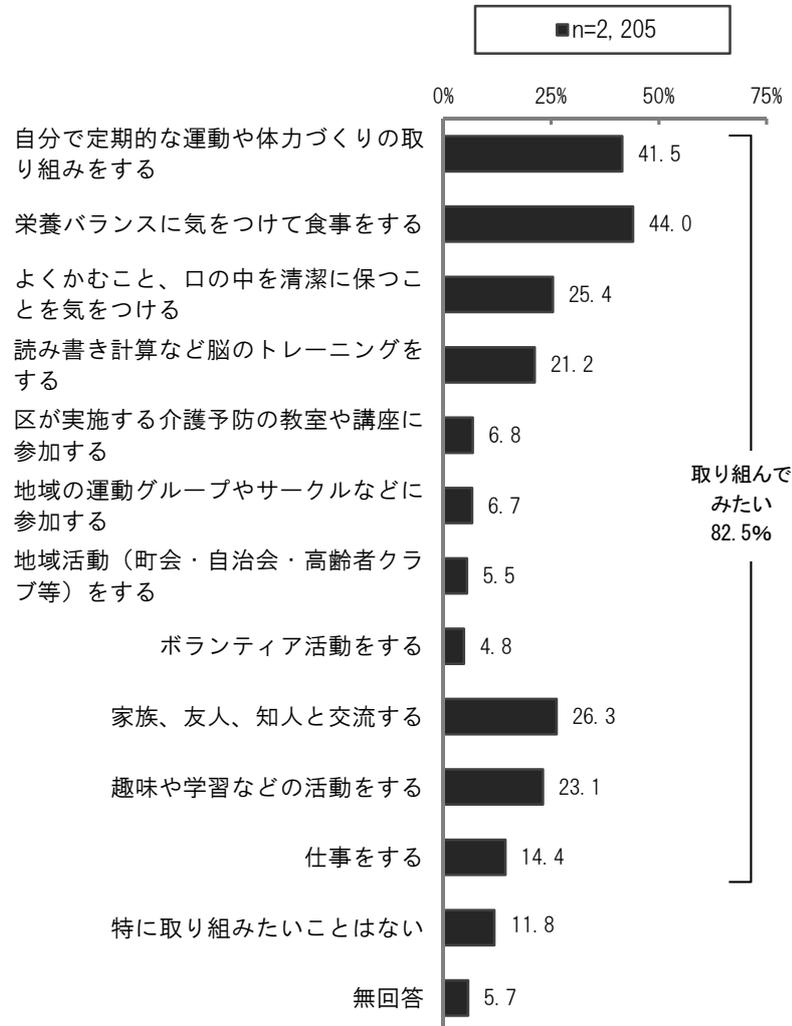
単位：%

項目		回答者数(人)	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなっても遅くないから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他	特に理由はない	無回答
全体		163	6.7	10.4	5.5	17.2	4.9	19.6	12.3	1.8	6.1	36.2	4.9
性別	男性	92	10.9	12.0	7.6	18.5	8.7	16.3	13.0	3.3	3.3	35.9	2.2
	女性	67	1.5	9.0	3.0	13.4	0.0	23.9	11.9	0.0	10.4	35.8	9.0
年齢別	65～69歳	43	11.6	20.9	7.0	27.9	2.3	20.9	9.3	0.0	9.3	32.6	0.0
	70～74歳	35	8.6	11.4	8.6	17.1	2.9	31.4	20.0	2.9	2.9	31.4	5.7
	75～79歳	39	0.0	7.7	7.7	15.4	12.8	7.7	10.3	5.1	2.6	41.0	5.1
	80～84歳	26	7.7	0.0	0.0	11.5	3.8	15.4	7.7	0.0	7.7	42.3	11.5
	85～89歳	12	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	33.3	8.3	0.0	0.0	25.0	8.3
	90歳以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	28.6	42.9	0.0

問10 健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいこと

健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたい割合は82.5%で、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が44.0%で最も高く、次いで「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が41.5%、「家族、友人、知人と交流する」が26.3%となっています。

図表 3.34 健康の維持・増進のために取り組んでみたいこと（3つ以内複数回答）



※「取り組んでみたい」=100%－「特に取り組みたいことはない」－「無回答」

健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいことを性別にみると、「男性」は「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が45.3%で最も高く、「女性」は「栄養バランスに気をつけて食事をする」が46.3%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」は「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が46.6%で最も高く、「70歳以上」は「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高くなっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が45.6%で最も高く、「どちらかといえば健康」、「あまり健康ではない」、「健康ではない」と思う人は、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高くなっています。「健康ではない」と思う人は、「特に取り組みたいことはない」が20.8%で他より高くなっています。

図表 3.35 健康の維持・増進のために取り組んでみたいこと（3つ以内複数回答）/性別/年齢別/健康感別 単位：%

項目	回答者数（人）	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	読み書き計算など脳のトレーニングをする	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動をする	仕事をする	特に取り組みたいことはない	無回答	
		41.5	44.0	25.4	21.2	6.8	6.7	5.5	4.8	26.3	23.1	14.4	11.8	5.7	
全体	2,205	41.5	44.0	25.4	21.2	6.8	6.7	5.5	4.8	26.3	23.1	14.4	11.8	5.7	
性別	男性	950	45.3	41.1	23.4	19.3	3.9	4.2	5.3	5.2	22.6	21.6	18.5	14.7	4.7
	女性	1,227	38.7	46.3	26.7	22.3	8.9	8.7	5.6	4.4	29.3	24.4	11.0	9.7	6.4
年齢別	65～69歳	567	46.6	42.5	20.8	16.6	5.6	7.2	5.3	4.9	23.6	24.5	22.0	11.5	4.8
	70～74歳	528	41.9	42.6	20.6	19.9	6.3	7.4	5.5	7.8	26.5	23.9	17.2	12.1	6.1
	75～79歳	522	42.0	46.6	31.6	23.9	8.2	4.8	5.0	3.6	29.3	24.5	10.3	11.1	5.0
	80～84歳	368	36.4	45.1	29.1	25.0	6.8	8.2	6.3	2.4	26.6	20.4	10.1	11.4	6.5
	85～89歳	146	36.3	44.5	26.0	24.0	8.9	4.8	6.2	3.4	26.0	20.5	4.8	11.6	8.2
	90歳以上	38	21.1	36.8	31.6	15.8	5.3	2.6	2.6	2.6	18.4	10.5	2.6	26.3	7.9
健康感別	とても健康	360	45.6	38.9	23.1	20.3	4.2	7.2	4.4	6.9	24.4	22.2	21.9	13.6	6.1
	どちらかといえば健康	1,343	42.1	45.3	24.6	21.8	7.8	7.4	6.5	4.4	28.7	24.7	13.8	10.4	4.3
	あまり健康ではない	312	38.8	45.2	29.5	22.4	7.1	4.2	4.5	5.1	22.1	20.2	9.3	13.8	5.8
	健康ではない	130	37.7	50.0	28.5	16.9	4.6	6.2	0.8	2.3	17.7	16.9	10.8	20.8	3.1

健康の維持・増進や介護予防のため、今後取り組んでみたいことを、①歩行や移動、転倒について該当項目別にみると、あてはまることがある人は、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、「どれにもあてはまらない」人は「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が41.9%で最も高くなっています。

②食事・栄養、口の健康について該当項目別にみると、いずれも「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高くなっています。

図表 3.36 健康の維持・増進のために取り組んでみたいこと（3つ以内複数回答）

/①歩行や移動、転倒についてあてはまること（複数回答）

/②食事・栄養、口の健康についてあてはまること（複数回答）

単位：%

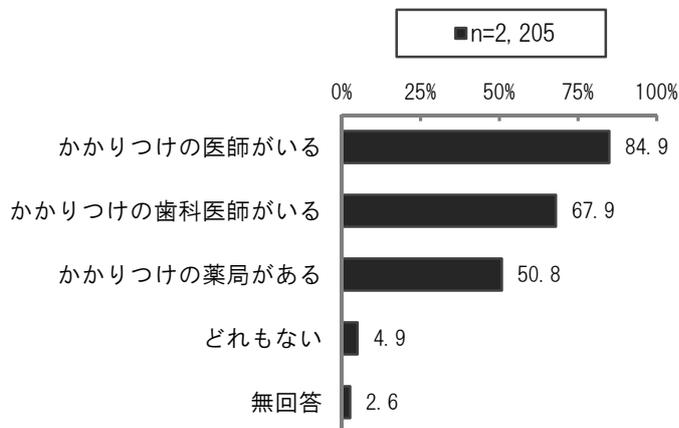
項目		回答者数（人）	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	読み書き計算など脳のトレーニングをする	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の実地参加グループやサークルなどに参加する	地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動をする	仕事をする	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		2,205	41.5	44.0	25.4	21.2	6.8	6.7	5.5	4.8	26.3	23.1	14.4	11.8	5.7
①歩行や移動、転倒について	あてはまること（複数回答）														
	背中が丸くなってきた	400	41.5	48.0	28.5	22.3	7.8	4.8	4.0	3.5	24.8	23.5	14.5	10.8	4.8
	1年間に転んだ	265	39.6	44.2	27.5	21.9	9.8	6.8	7.2	3.8	27.2	21.5	11.7	10.6	6.8
	歩く速度が遅くなった	1,006	42.1	46.6	29.3	23.0	7.7	6.4	5.6	4.7	26.5	21.7	12.6	10.8	4.7
	手すり等をつたって階段の昇降	389	39.1	48.6	31.9	25.7	8.5	5.1	5.7	1.8	27.2	21.3	9.8	12.6	6.2
	15分以上続けて歩けない	135	39.3	42.2	31.9	28.9	7.4	4.4	3.7	1.5	23.7	20.7	10.4	17.0	5.9
	昨年より外出回数が減少	469	38.8	47.3	30.3	22.4	8.7	5.8	3.8	3.2	24.5	21.5	7.9	13.4	5.3
どれにもあてはまらない	838	41.9	40.7	22.1	18.7	5.6	6.7	5.4	5.5	26.7	23.5	16.8	13.8	7.3	
②食事・栄養、口の健康について	あてはまること（複数回答）														
	口の渇きが気になる	288	39.9	45.8	31.3	25.7	11.5	7.6	5.9	5.6	26.4	20.1	9.7	12.2	4.9
	お茶等でむせることがある	340	43.5	45.0	31.2	22.6	10.3	7.9	6.8	4.7	27.4	23.8	13.8	10.3	5.0
	硬いものが食べにくくなった	287	37.3	41.8	30.0	24.0	11.1	5.6	5.2	4.2	21.6	19.9	13.9	11.1	6.3
	半年で2～3kg以上の体重減少	182	37.4	48.9	26.9	18.7	3.3	6.6	3.8	3.8	26.4	20.3	18.7	13.7	5.5
どれにもあてはまらない	1,316	42.3	43.5	22.9	19.7	5.8	6.9	5.5	4.6	26.4	24.1	14.9	12.3	5.8	

6 医療について

問11 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医等の有無は、「かかりつけの医師がいる」が84.9%で最も高く、「かかりつけの歯科医師がいる」が67.9%、「かかりつけの薬局がある」が50.8%となっています。

図表 3.37 かかりつけ医等の有無（複数回答）



かかりつけ医等の有無を性別で見ると、「女性」は「かかりつけの歯科医師がいる」が「男性」より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、「65～89歳」までは「かかりつけの医師がいる」、「かかりつけの薬局がある」割合が、年齢が上がるほど高くなっています。一方、「75～79歳」は「かかりつけの歯科医師がいる」割合が72.4%で、他の年代よりも高くなっています。

健康感別にみると、「健康ではない」と思う人ほど「かかりつけの医師がいる」割合が高くなっています。

図表 3.38 かかりつけ医等の有無（複数回答）/性別/年齢別/健康感別 単位：%

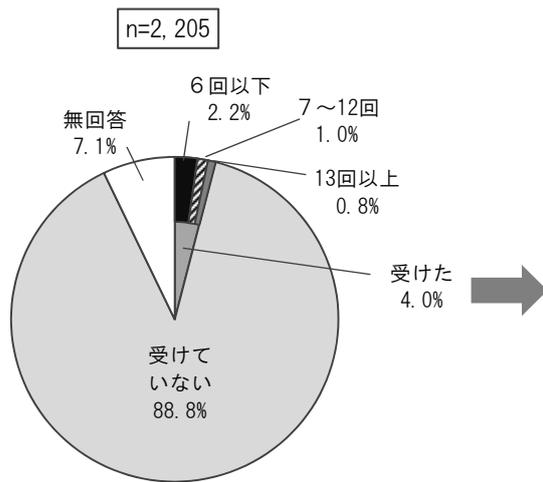
項目		回答者数 (人)	かかりつけの医師	かかりつけの歯科	かかりつけの薬局	どれもない	無回答
全体		2,205	84.9	67.9	50.8	4.9	2.6
性別	男性	950	84.1	60.9	43.9	5.8	3.1
	女性	1,227	85.5	73.3	56.2	4.4	2.1
年齢別	65～69歳	567	78.3	66.7	38.8	6.3	2.8
	70～74歳	528	83.9	67.4	47.5	5.9	1.9
	75～79歳	522	87.9	72.4	57.3	3.4	2.9
	80～84歳	368	89.9	67.7	60.9	4.3	2.2
	85～89歳	146	90.4	65.8	64.4	2.7	3.4
	90歳以上	38	81.6	47.4	42.1	10.5	5.3
健康感別	とても健康	360	78.6	63.3	38.1	8.9	2.8
	どちらかといえば健康	1,343	85.5	70.9	51.6	4.3	2.0
	あまり健康ではない	312	88.8	65.7	61.5	4.8	2.6
	健康ではない	130	93.1	59.2	53.8	1.5	3.1

問12 1年間に医師や歯科医師に自宅等での訪問による治療（往診）を受けた回数

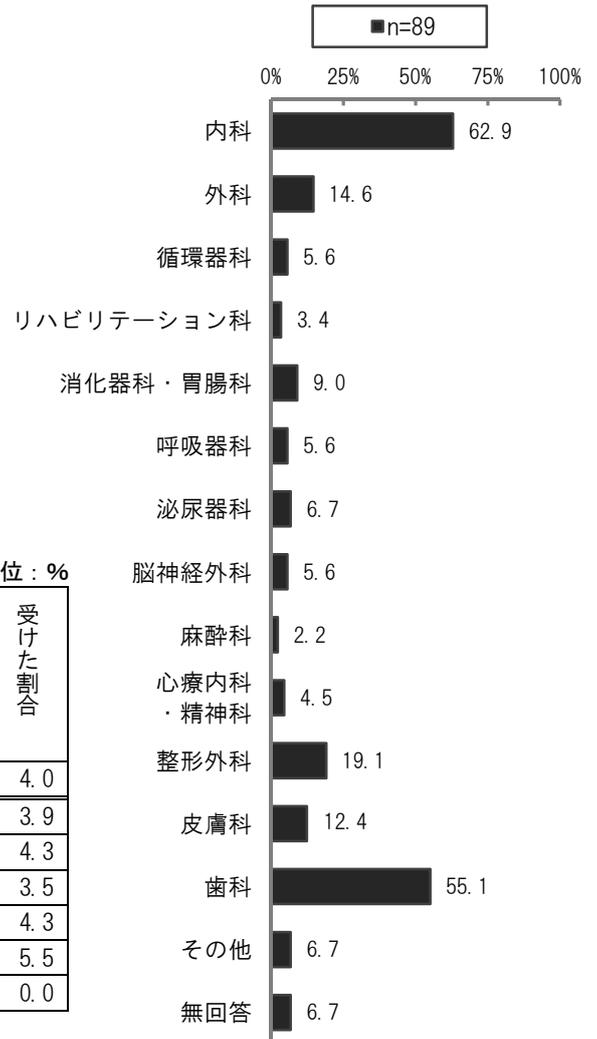
問12-1【訪問治療を受けた方】訪問治療（往診）を受けた科目

1年間に訪問による治療（往診）を受けた割合は、4.0%となっています。
 年齢別にみると、「受けた割合」が「85～89歳」は5.5%で最も高く、次いで「70～74歳」、「80～84歳」はともに4.3%となっています。
 訪問治療を受けた科目は「内科」が62.9%で最も高く、次いで「歯科」が55.1%、「整形外科」が19.1%となっており、治療回数別にみても、いずれも「内科」が最も高く、次いで「歯科」となっています。

図表 3.39 1年間に訪問治療を受けた回数



図表 3.40 訪問治療を受けた科目（複数回答）



図表 3.41 訪問治療を受けた回数/年齢別

単位：%

項目	回答者数 (人)	回数					受けていない	無回答	受けた割合
		6回以下	7～12回	13回以上	受けていない	無回答			
全体	2,205	2.2	1.0	0.8	88.8	7.1	4.0		
年齢別	65～69歳	567	1.8	1.6	0.5	92.2	3.9	3.9	
	70～74歳	528	2.7	1.3	0.4	90.2	5.5	4.3	
	75～79歳	522	2.3	0.4	0.8	88.3	8.2	3.5	
	80～84歳	368	2.4	0.8	1.1	83.7	12.0	4.3	
	85～89歳	146	1.4	1.4	2.7	86.3	8.2	5.5	
	90歳以上	38	0.0	0.0	0.0	94.7	5.3	0.0	

※「受けた割合」=100%－「受けていない」－無回答

※その他【抜粋】

・眼科 ・耳鼻咽喉科 ・リウマチ科

図表 3.42 訪問治療を受けた科目（複数回答）/訪問治療回数別

単位：%

項目	回答者数 (人)	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	胃腸科	消化器科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科	麻酔科	心療内科・精神科	整形外科	皮膚科	歯科	その他	無回答
		全体	89	62.9	14.6	5.6	3.4	9.0	5.6	6.7	5.6	2.2	4.5	19.1	12.4	55.1	6.7
訪問治療回数別	6回以下	49	53.1	12.2	0.0	0.0	2.0	2.0	4.1	6.1	2.0	4.1	12.2	6.1	46.9	8.2	10.2
	7～12回	23	65.2	13.0	8.7	4.3	17.4	17.4	13.0	4.3	4.3	0.0	17.4	21.7	56.5	4.3	4.3
	13回以上	17	88.2	23.5	17.6	11.8	17.6	0.0	5.9	5.9	0.0	11.8	41.2	17.6	76.5	5.9	0.0

7 認知症について

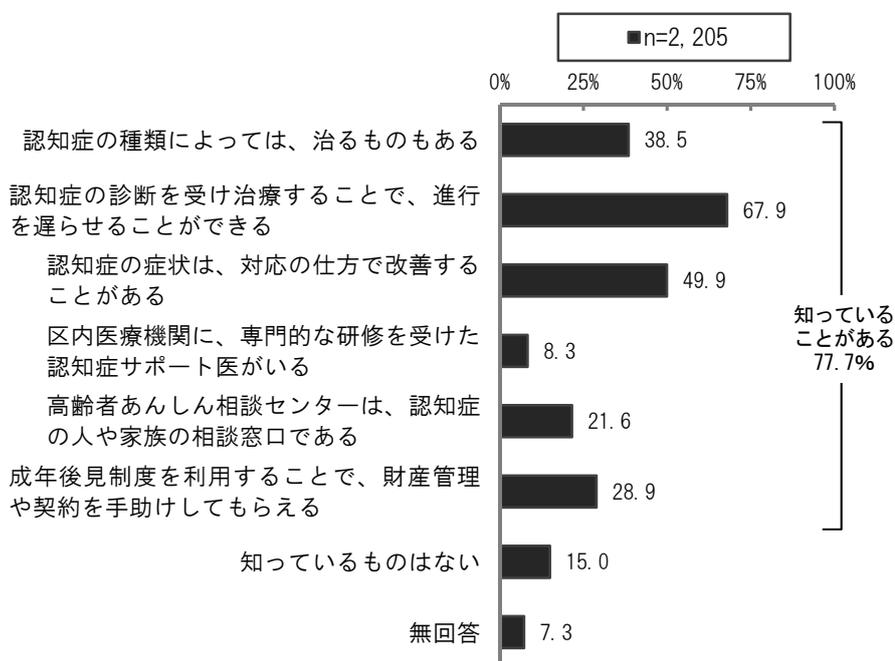
問 13 認知症のケアや支援制度について知っていること

認知症のケアや支援制度について知っていることがある割合は77.7%で、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が67.9%で最も高く、次いで「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」が49.9%、「認知症の種類によっては、治るものもある」が38.5%となっています。

性別にみると、「女性」のほうが知っていることがある割合が「男性」より高く、「認知症サポート医がいる」を除いて10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が最も高くなっています。「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」は、「65～79歳」は50%を超えており、「成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる」は、「65～69歳」が30%を超えています。

図表 3.43 認知症のケアや支援制度について知っていること（複数回答）



※「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

図表 3.44 認知症のケアや支援制度について知っていること（複数回答）/性別/年齢別

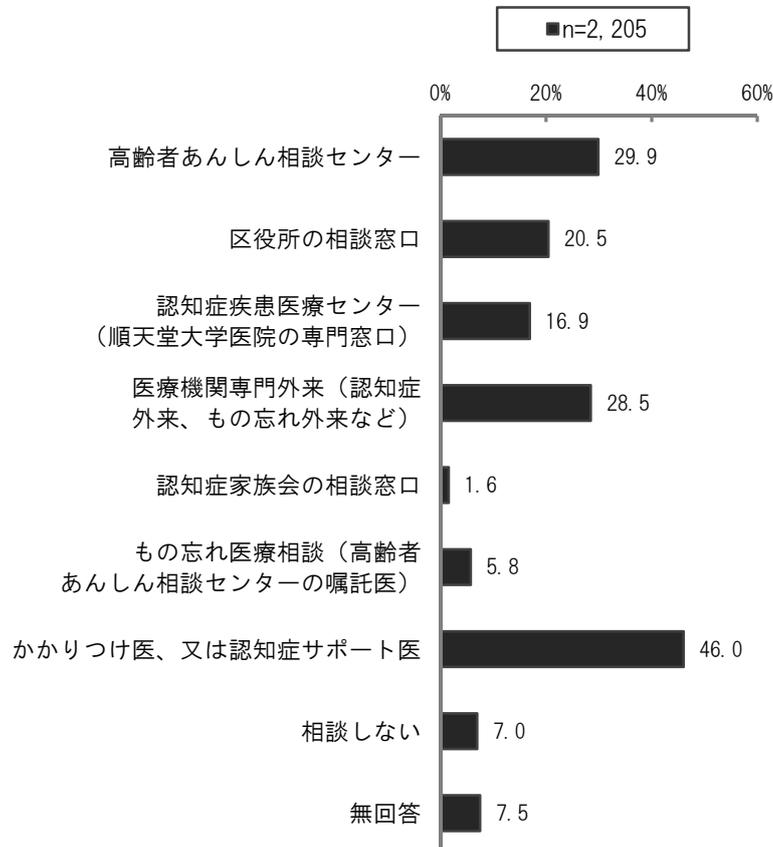
単位：%

項目	回答者数 (人)	認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる	知っているものはない	無回答	
										全体
全体	2,205	38.5	67.9	49.9	8.3	21.6	28.9	15.0	7.3	
性別	男性	950	31.8	59.9	42.6	6.3	15.6	21.5	22.5	6.7
	女性	1,227	43.3	74.2	55.7	9.6	26.3	34.5	9.2	7.7
年齢別	65～69歳	567	34.4	72.1	53.3	9.2	22.0	35.1	13.6	4.1
	70～74歳	528	40.2	72.3	54.5	7.2	21.2	29.7	13.8	4.9
	75～79歳	522	40.8	66.3	52.5	9.4	23.4	28.9	14.4	9.2
	80～84歳	368	40.5	61.4	38.9	7.6	20.9	21.2	16.3	12.0
	85～89歳	146	38.4	61.0	47.3	5.5	19.2	25.3	19.9	9.6
	90歳以上	38	36.8	63.2	31.6	13.2	13.2	15.8	18.4	7.9

問 14 認知症に関して相談する場合に利用すると思う相談窓口

認知症に関して相談する場合に利用すると思う相談窓口は、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が46.0%で最も高く、次いで「高齢者あんしん相談センター」が29.9%、「医療機関専門外来」が28.5%となっています。

図表 3.45 認知症に関する相談に利用すると思う窓口（複数回答）

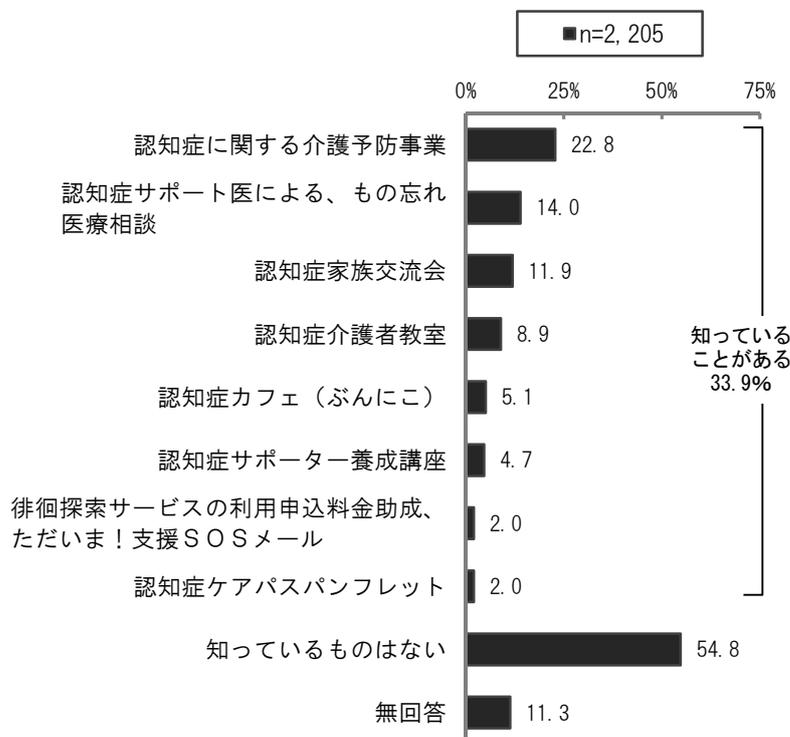


問 15 認知症に関する区の事業について知っていること

認知症に関する区の事業について知っていることがある割合は33.9%で、「認知症に関する介護予防事業」が22.8%で最も高く、次いで「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が14.0%、「認知症家族交流会」が11.9%となっています。一方、「知っているものはない」が54.8%となっています。

圏域別にみると、いずれも「認知症に関する介護予防事業」が最も高くなっています。

図表 3.46 認知症に関する区の事業について知っていること（複数回答）



※「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

図表 3.47 認知症に関する区の事業について知っていること（複数回答）/圏域別

単位：%

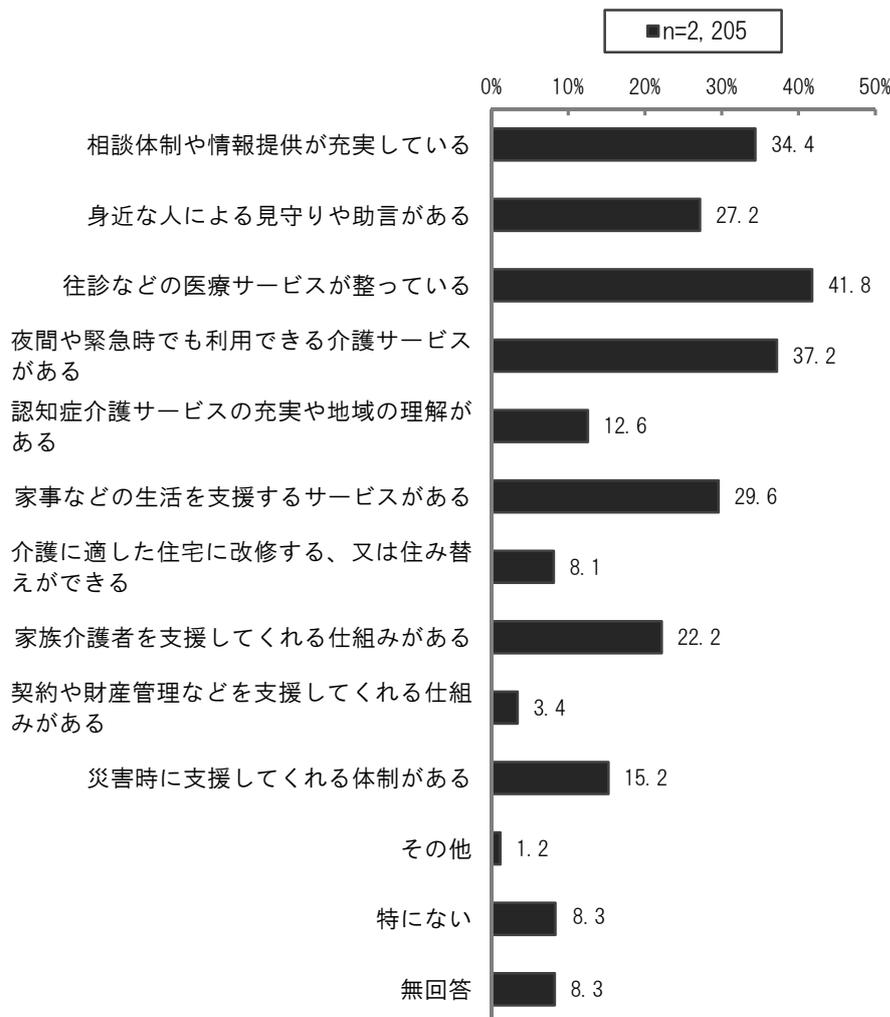
項目	回答者数（人）	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症カフェ（ぶんにご）	認知症サポーター養成講座	徘徊探索サービスの利用申込料金助成、ただいま！支援SOSメール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答	
全体	2,205	22.8	14.0	11.9	8.9	5.1	4.7	2.0	2.0	54.8	11.3	
圏域別	富坂 地区	699	23.0	12.7	13.2	9.3	5.4	5.6	2.9	2.7	53.8	11.7
	大塚 地区	502	18.7	14.7	10.2	9.0	5.0	5.0	1.4	1.2	60.2	10.2
	本富士地区	467	26.3	15.0	12.4	9.2	3.4	3.9	1.9	1.7	51.0	11.8
	駒込 地区	537	23.3	14.0	11.5	8.2	6.1	3.9	1.7	2.2	54.4	11.5

8 介護等について

問 16 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと考えることは、「往診などの医療サービスが整っている」が41.8%で最も高く、次いで「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が37.2%、「相談体制や情報提供が充実している」が34.4%となっています。

図表 3.48 地域で暮らし続けるために必要なこと（3つ以内複数回答）



※その他【抜粋】

- ・ボランティア
- ・お年寄りの集まる場所
- ・暮らし続けるためには、身体を鍛え、栄養のある食事をすること
- ・用語のわかりやすさ
- ・今後かかる諸費用及び今後の生活プランの作成など

住み慣れた地域で暮らし続けるために必要だと考えることを性別にみると、ともに「往診などの医療サービスが整っている」が最も高く、次いで「男性」は「相談体制や情報提供が充実している」が36.3%、「女性」は「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が39.5%となっています。「家事などの生活を支援するサービスがある」は「女性」が33.7%で、「男性」より9.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「65～89歳」は「往診などの医療サービスが整っている」が最も高く、次いで「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が高くなっています。「90歳以上」は「身近な人による見守りや助言がある」が34.2%で最も高くなっています。また、「65～79歳」は「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」が20%を超えています。

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」、「その他（いずれか65歳未満ほか）」世帯は「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が最も高く、それ以外の世帯は「往診などの医療サービスが整っている」が最も高くなっています。また、「ひとり暮らし」、「夫婦のみ（65歳以上）」世帯は「家事などの生活を支援するサービスがある」が30%を超えています。

図表 3.49 地域で暮らし続けるために必要なこと（複数回答）/性別/年齢別/世帯構成別 単位：%

項目	回答者数（人）	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、又は住み替えができる	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	特にない	無回答	
		全体	2,205	34.4	27.2	41.8	37.2	12.6	29.6	8.1	22.2	3.4	15.2	1.2	8.3
性別	男性	950	36.3	25.3	40.7	34.3	12.4	24.3	8.0	21.7	2.7	13.5	1.6	11.4	6.5
	女性	1,227	32.6	28.4	42.6	39.5	12.5	33.7	8.2	22.3	3.7	16.6	0.9	6.1	9.6
年齢別	65～69歳	567	35.8	24.9	44.4	42.5	14.3	34.9	8.8	26.6	3.4	16.2	1.2	5.3	5.6
	70～74歳	528	36.7	26.1	44.7	37.7	13.6	29.0	8.7	24.1	2.5	13.3	0.9	7.8	6.1
	75～79歳	522	34.7	28.4	39.8	35.4	13.4	29.7	9.2	22.8	4.8	13.4	1.7	9.0	9.6
	80～84歳	368	31.8	28.8	37.2	34.0	9.0	26.6	6.3	16.6	3.5	19.6	0.8	11.1	10.9
	85～89歳	146	30.8	26.0	42.5	35.6	9.6	24.0	5.5	15.1	2.7	15.8	1.4	12.3	12.3
	90歳以上	38	23.7	34.2	28.9	23.7	10.5	13.2	7.9	13.2	0.0	18.4	0.0	13.2	13.2
世帯構成別	ひとり暮らし	500	30.4	24.4	37.0	40.0	9.4	35.2	7.2	8.2	4.8	19.4	2.4	10.6	11.2
	夫婦のみ（65歳以上）	736	38.5	25.5	45.8	37.9	14.0	31.5	9.0	24.9	4.5	12.2	0.8	6.0	7.2
	二世帯等（全員65歳以上）	87	32.2	28.7	37.9	36.8	10.3	27.6	11.5	25.3	2.3	17.2	0.0	6.9	10.3
	夫婦のみ（いずれか65歳未満ほか）	113	30.1	29.2	41.6	28.3	10.6	29.2	5.3	23.0	1.8	11.5	0.9	12.4	10.6
	二世帯（いずれか65歳未満ほか）	539	36.0	29.1	40.6	35.8	13.9	25.2	8.9	27.1	2.2	17.1	1.1	8.9	5.9
	三世帯以上（いずれか65歳未満ほか）	174	30.5	36.2	51.1	36.2	11.5	21.8	5.7	34.5	1.1	13.2	0.6	7.5	5.2
	その他（いずれか65歳未満ほか）	26	34.6	34.6	23.1	42.3	30.8	26.9	11.5	34.6	0.0	3.8	0.0	3.8	11.5

問17 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

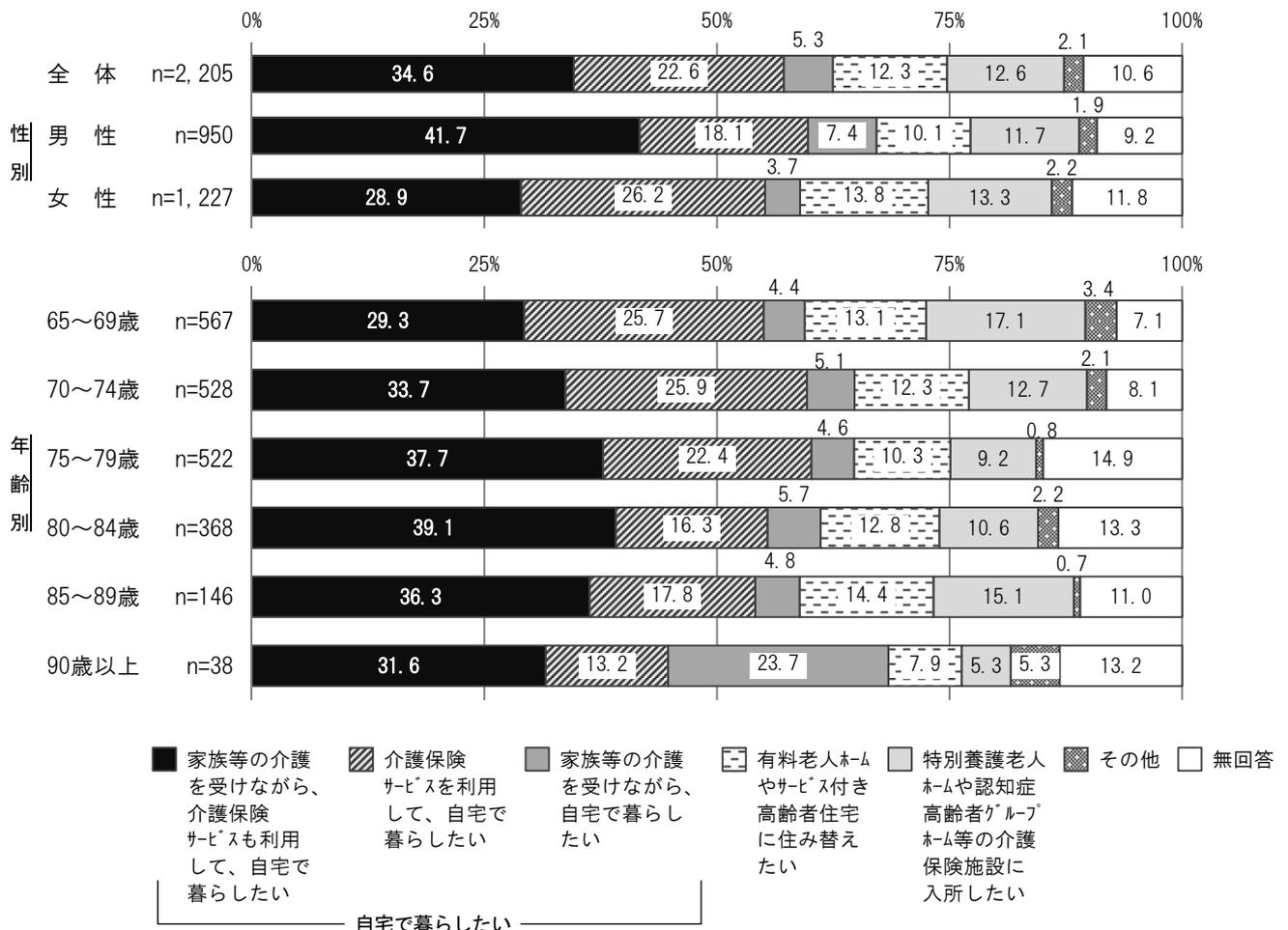
介護が必要になった場合に希望する暮らし方は、「家族等の介護を受けながら、介護保険サービスも利用して、自宅で暮らしたい」が34.6%で最も高く、次いで「介護保険サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が22.6%、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」が12.6%となっています。

「家族等の介護を受けながら、介護保険サービスも利用して、自宅で暮らしたい」、「介護保険サービスを利用して、自宅で暮らしたい」、「家族等の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」を合わせた「自宅で暮らしたい」割合は62.5%となっています。

性別にみると、ともに「家族等の介護を受けながら、介護保険サービスも利用して、自宅で暮らしたい」が最も高く、「男性」が41.7%、「女性」が28.9%で「男性」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、「90歳以上」は「自宅で暮らしたい」割合が68.5%で最も高くなっています。

図表 3.50 今後希望する暮らし方/性別/年齢別

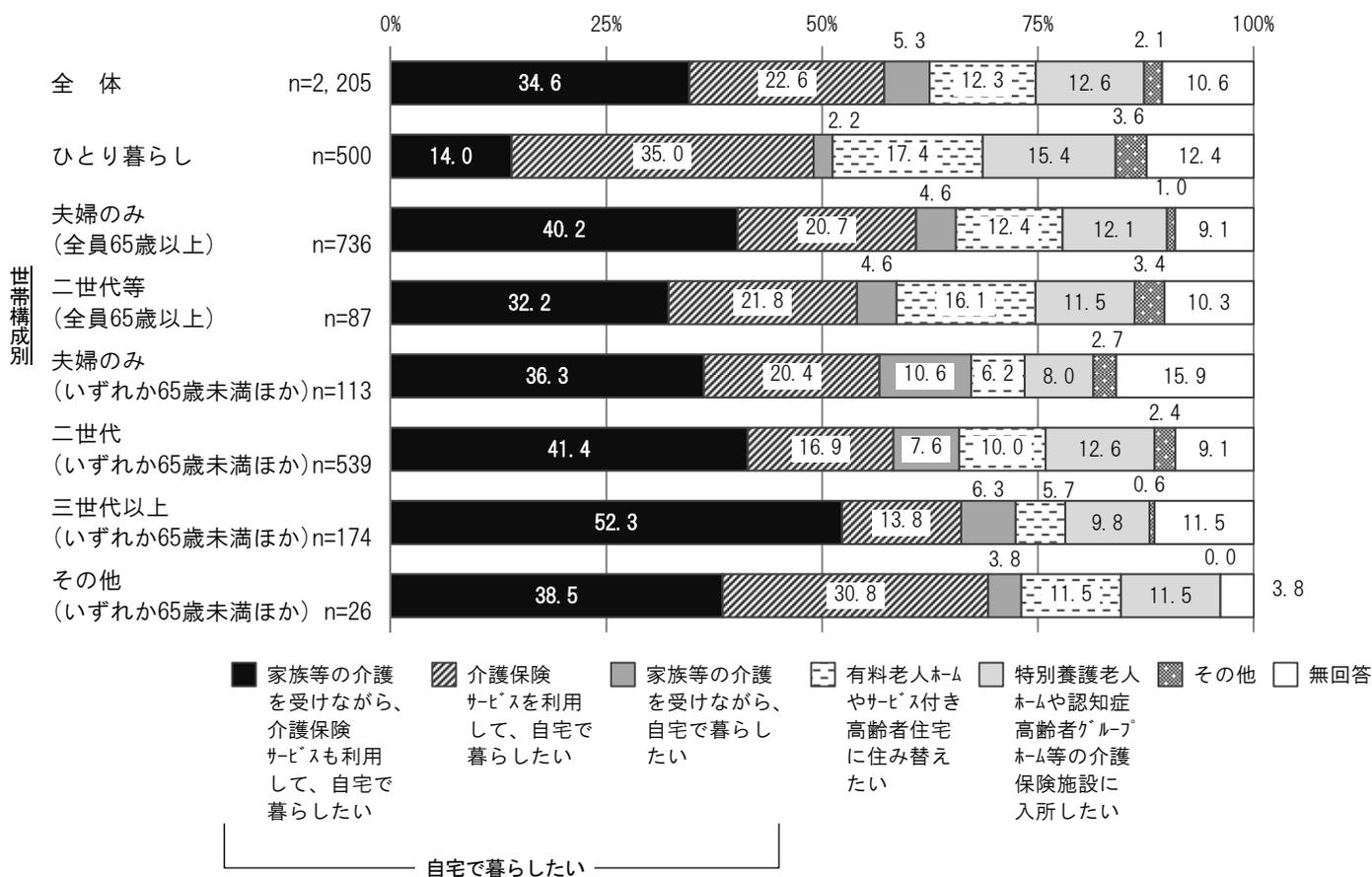


※その他【抜粋】

- ・その状況によって変化するからイメージできない。
- ・もう充分生きたので、延命措置は望まない。
- ・家族に迷惑をかけたくないので、どこにでも入れてほしい。
- ・家族（別居の娘）には迷惑をかけず一人で暮らしたい。
- ・現在のところ安心してお願いできる施設が無いので近い将来が不安
- ・介護保険サービスを利用して、一人で暮らしたい。
- など

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」世帯は「介護保険サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が35.0%で最も高く、それ以外の世帯構成では、「家族等の介護を受けながら、介護保険サービスも利用して、自宅で暮らしたい」が最も高くなっています。

図表 3.51 今後希望する暮らし方/世帯構成別



問 18 終末期を迎える場所の希望

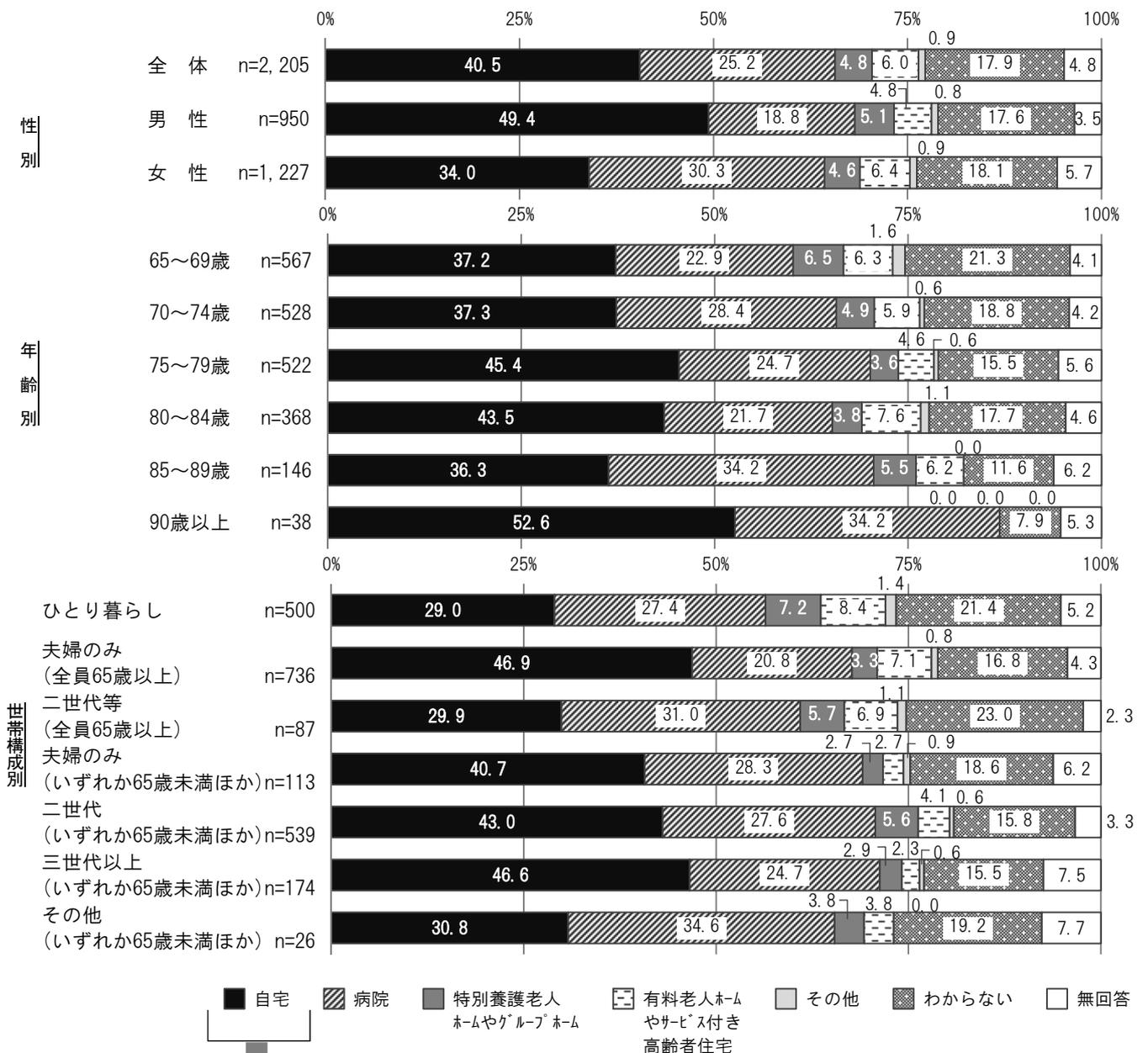
終末期を迎える場所の希望は、「自宅」が40.5%で最も高く、次いで「病院」が25.2%、「わからない」が17.9%となっています。

性別にみると、「男性」は「自宅」が49.4%で、「女性」より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「自宅」が最も高く、次いで「病院」となっていますが、「85～89歳」はその差が2ポイント程度となっています。

世帯構成別にみると、「夫婦のみ（全員65歳以上）」世帯、「三世代以上（いずれか65歳未満ほか）」世帯は、「自宅」がそれぞれ46.9%、46.6%で、「病院」より20ポイント以上高くなっています。

図表 3.52 終末期をどこで迎えたいか/性別/年齢別/世帯構成別



問 18-1 へ

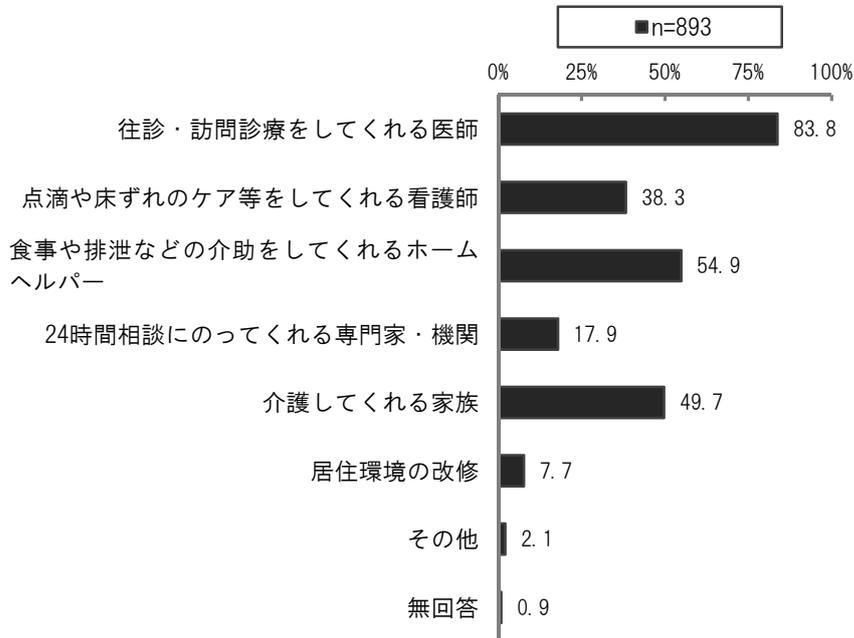
※その他【抜粋】

- ・子供とも相談して自分の意識のレベルに応じて考える。
- ・ホスピス
- ・嫁の家
- ・親族のそば
- ・終末期治療をしてくれる施設

問 18- 1 【自宅を希望する方】 自宅で最期まで療養するために必要なこと

終末期を「自宅」で迎えたいと思う人が、自宅で最期まで療養するために必要だと思うことは、「往診・訪問診療をしてくれる医師」が 83.8%で最も高く、次いで「食事や排泄などの介助をしてくれるホームヘルパー」が 54.9%、「介護してくれる家族」が 49.7%となっています。

図表 3.53 自宅で最期まで療養するために必要なこと（3つ以内複数回答）



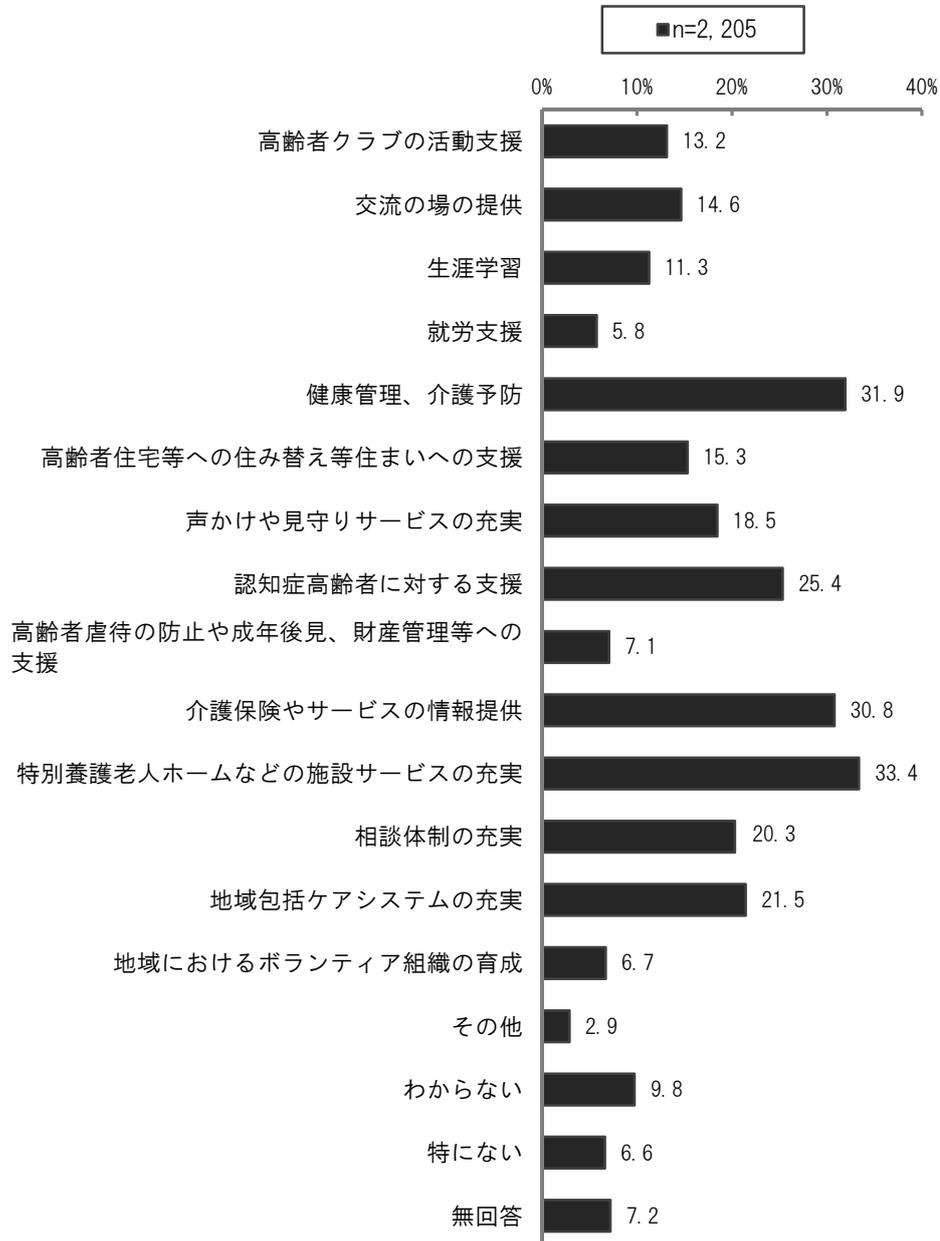
※その他【抜粋】

- ・経済的援助 ・安全にすごせる家
- ・話し相手になってくれる友人 など

問 19 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと

高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいことは、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が33.4%で最も高く、次いで「健康管理、介護予防」が31.9%、「介護保険やサービスの情報提供」が30.8%となっています。

図表 3.54 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと（複数回答）



高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいことを圏域別にみると、「富坂地区」、「大塚地区」は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」がそれぞれ33.2%、33.3%で最も高く、「本富士地区」は「介護保険やサービスの情報提供」が35.1%で最も高く、「駒込地区」は「健康管理、介護予防」が35.4%で最も高くなっています。

性別にみると、「男性」は「健康管理、介護予防」が33.9%で最も高く、「女性」は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が33.6%で最も高くなっていますが、大きな差はみられません。また、「声かけや見守りサービスの充実」は「女性」が21.6%で、「男性」より7.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、「65～79歳」は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が最も高く、「80歳以上」は「健康管理、介護予防」が最も高くなっています。

図表 3.55 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと（複数回答）/圏域別/性別/年齢別 単位：%

項目	回答者数（人）	高齢者クラブの活動	交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	
		全体	2,205	13.2	14.6	11.3	5.8	31.9	15.3	18.5	25.4
圏域別	富坂 地区	699	12.0	14.0	9.9	5.6	31.9	15.5	18.9	25.9	7.3
	大塚 地区	502	12.9	13.9	13.1	6.4	29.7	13.5	17.7	23.3	5.8
	本富士地区	467	14.1	15.8	12.0	3.9	30.4	14.8	19.7	27.6	7.9
	駒込 地区	537	14.0	15.1	10.8	7.1	35.4	17.3	17.5	24.6	7.3
性別	男性	950	12.6	13.8	11.8	6.6	33.9	14.4	14.3	25.4	5.4
	女性	1,227	13.5	15.2	11.2	5.1	30.1	16.0	21.6	25.5	8.3
年齢別	65～69歳	567	9.7	12.5	13.1	9.2	32.6	16.0	17.5	24.7	9.2
	70～74歳	528	12.1	14.6	11.7	7.2	32.4	18.4	18.2	27.1	5.5
	75～79歳	522	14.6	15.7	9.8	4.2	31.6	13.4	22.2	29.3	6.7
	80～84歳	368	16.0	14.9	10.1	2.4	31.5	15.5	15.8	20.7	8.2
	85～89歳	146	16.4	18.5	12.3	2.1	30.8	9.6	17.8	20.5	4.1
	90歳以上	38	13.2	15.8	7.9	0.0	28.9	7.9	15.8	23.7	5.3

項目	回答者数（人）	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	相談体制の充実	地域包括ケアシステムの充実	地域におけるボランティア組織の育成	その他	わからない	特になし	無回答	
		全体	2,205	30.8	33.4	20.3	21.5	6.7	2.9	9.8	6.6
圏域別	富坂 地区	699	31.0	33.2	20.7	21.0	6.4	3.7	10.9	7.0	6.4
	大塚 地区	502	28.9	33.3	21.7	22.1	7.8	2.2	10.2	6.2	8.4
	本富士地区	467	35.1	33.6	21.0	24.6	7.5	2.8	8.8	7.1	6.2
	駒込 地区	537	28.5	33.5	17.9	18.6	5.4	2.6	8.8	6.1	8.0
性別	男性	950	29.5	33.1	20.2	18.1	6.0	3.1	9.7	9.3	5.6
	女性	1,227	31.5	33.6	20.1	24.0	7.1	2.8	9.8	4.6	8.6
年齢別	65～69歳	567	33.2	37.2	21.3	26.3	7.2	2.8	8.3	5.8	6.2
	70～74歳	528	33.7	35.0	20.3	21.0	6.3	2.1	8.7	5.5	6.1
	75～79歳	522	31.6	33.5	20.9	20.7	7.3	3.8	10.5	7.3	7.1
	80～84歳	368	25.5	31.0	18.2	19.8	6.0	3.0	11.4	6.8	9.0
	85～89歳	146	22.6	26.7	21.9	15.8	6.8	3.4	7.5	11.6	10.3
	90歳以上	38	26.3	13.2	7.9	15.8	5.3	2.6	21.1	2.6	10.5

高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいことを世帯構成（3区分）別みると、「ひとり暮らし世帯」、「その他の世帯」は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が最も高く、「高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）」は「健康管理、介護予防」が36.1%で最も高くなっていますが、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が36.0%でほとんど差がありません。また、「認知症高齢者に対する支援」は「高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）」が28.6%、「その他の世帯」が26.4%となっており、「ひとり暮らし世帯」より高くなっています。

図表 3.56 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと（複数回答）/世帯構成（3区分）別 単位：%

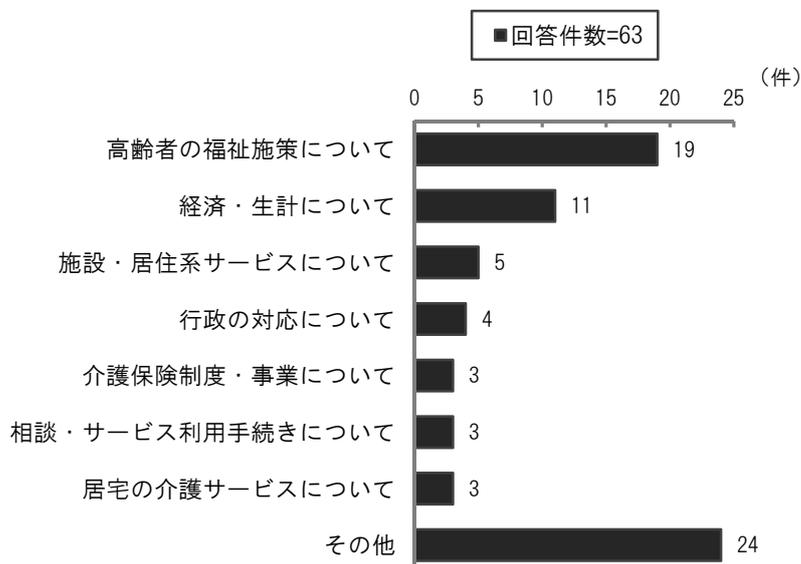
項目	回答者数（人）	高齢者クラブの活動支援	交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの住み替え支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	
		全体	2,205	13.2	14.6	11.3	5.8	31.9	15.3	18.5	25.4
(3区分)別世帯構成	ひとり暮らし世帯	500	11.4	13.0	12.2	4.4	27.4	17.8	23.0	18.8	5.8
	高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）	823	12.6	14.8	11.3	5.7	36.1	15.9	18.6	28.6	7.8
	その他の世帯	852	14.7	15.8	10.8	6.8	30.9	13.4	15.8	26.4	6.9

項目	回答者数（人）	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	相談体制の充実	地域包括ケアシステムの充実	地域におけるボランティア組織の育成	その他	わからない	特にない	無回答	
		全体	2,205	30.8	33.4	20.3	21.5	6.7	2.9	9.8	6.6
(3区分)別世帯構成	ひとり暮らし世帯	500	28.4	30.8	18.6	22.2	6.2	3.2	9.8	8.0	7.0
	高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）	823	32.9	36.0	23.3	23.8	6.9	2.8	7.3	6.2	7.0
	その他の世帯	852	31.0	32.7	18.7	19.1	7.0	2.9	11.9	6.2	6.9

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと「その他」（自由記述）

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことの自由記述の意見では、「高齢者の福祉施策について」が19件、「経済・生計について」が11件、「施設・居住系サービスについて」が5件となっています。また、「その他」の意見・要望等が24件となっています。

図表 3.57 高齢者施策、介護保険事業について、区に力を入れてほしいこと（自由記述）（複数回答）



主な記述

1. 高齢者の福祉施策について 19件

- ◇高齢者のグループが自主的な趣味（文化・スポーツ等）を交流するため、区の施設を利用しやすくすること。
- ◇私のところには民生委員の方がいないので、センターの方が一人暮らしの家庭に定期的に電話する制度を作してほしい。
- ◇いつでも困った時に家事などの生活を支援してくれるサービスをしてほしい。

2. 経済・生計について 11件

- ◇高齢者に対する経済的支援
- ◇年金も少なく、貯金もないので老後が心配
- ◇介護費用への援助。介護者への援助（生活、精神面等への配慮）

3. 施設・居住系サービスについて 5件

- ◇老人ホームの数を増やしてほしい。有料でも民間よりは安くしてほしい。
- ◇区立小・中学校を利用して特養老人ホーム等を早急に質、量、共に充実してほしい。（廃校や建て替時、改修時に検討）

4. 行政の対応について 4件

- ◇利用できる制度と料金についての情報提供の充実
- ◇生涯自立して暮らすことを心から望む。具体的にはどのようなサービスを区で考えているのか実現可能なのか知りたい。

5. 介護保険制度・事業について 3件

- ◇区としての施策と、都、国との協業の分界点が不明
- ◇介護保険事業に多くのムダがある。たとえば介護認定業務やサービスの書類の多さ等々

6. 相談・サービス利用手続きについて 3件

- ◇区内2ヶ所の介護施設に相談に伺った時、看護、介助の制度の説明を受けられなかった。しかし、後に医者、ケアマネ、区の行政担当者の三者による制度を知り、手続許可後は、充実した手当ができた。一番目の所での相談の取上げ方法及び医者による助言があったらスムーズに充実した看護ができた。
- ◇相談窓口の充実

7. 居宅の介護サービスについて 3件

- ◇急用で介護が必要な人を預かる所が文京区にはないことを聞きとても不安。緊急の用事の時2～3日預かってくれる施設があると良い。

8. その他 24件

- ◇地域包括ケアシステムを知らない人が多い。利用している人も教えない。人から待つのではなく、自分で区の福祉に出向くと聞いた。
- ◇世の中の情報がすべてパソコン、インターネットの時代になり、そのような機種を使えない者、持たない者がだんだんと取り残されて行くことに不安を感じる。
- ◇地域の歴史が長いので年寄が自由に歩き廻ることができる、生きた街づくり。私の母も、認知症が進んでも、根津の街を庭のように歩き廻っていた。肩の力を抜いて気楽に年寄が歩ける街にしたい。
- ◇現在は自立しているので、終末期を迎えた時の状態が判らない。心配はあるが、今できることは何か疑問である。

9 就業について

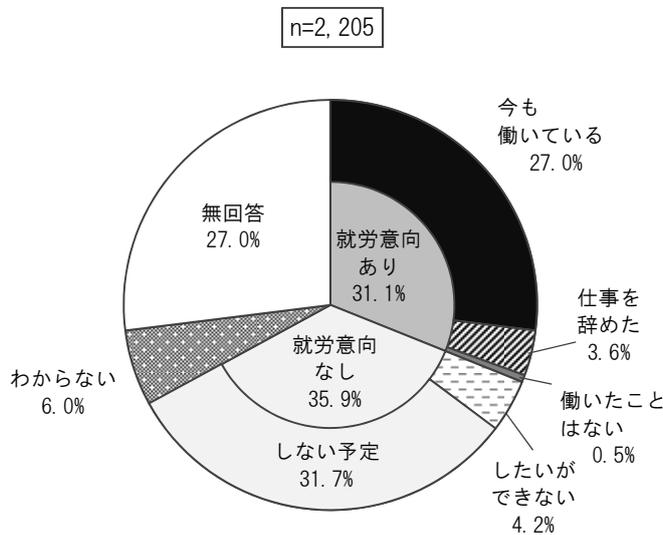
問 20 現在の就労状況と今後の就労意向

現在の就労状況は、「今も働いている」割合が27.0%となっており、今後の就労意向は、就労意向のある割合が31.1%、就労意向のない割合が35.9%となっています。

性別・年齢別にみると、「男性」の「65～74歳」は「今も働いており、今後も何らかの仕事をしたい」が最も高く、「75歳以上」は「仕事はしない予定である」が最も高くなっています。また、「75～84歳」は「今も働いており、今後も何らかの仕事をしたい」が20%を超えています。

「女性」の「65～69歳」は「今も働いており、今後も何らかの仕事をしたい」が36.8%で最も高く、「70歳以上」は「仕事はしない予定である」が最も高くなっています。また、「70～74歳」は「今も働いており、今後も何らかの仕事をしたい」が20%を超えています。

図表 3.58 就労状況と就労意向



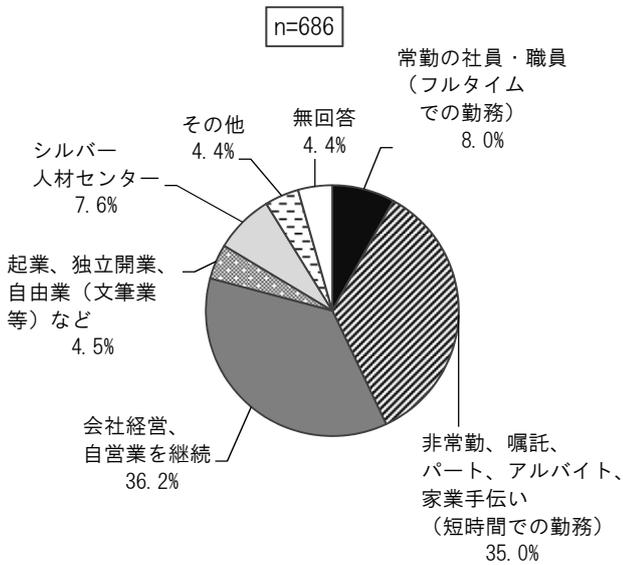
図表 3.59 就労状況と就労意向/性別・年齢別

単位：%

項目	回答者数(人)	就労意向あり			就労意向なし		わからない	無回答	
		今も働いており、今後も何らかの仕事をしたい	今も働いており、仕事を辞めたが、今後も何らかの仕事をしたい	今も働いており、仕事を辞めたが、今後は何らかの仕事をしたい	仕事はしたいができない	仕事はしない予定である			
全体	2,205	27.0	3.6	0.5	4.2	31.7	6.0	27.0	
男性	65～69歳	263	47.9	7.6	0.0	2.7	27.8	6.5	7.6
	70～74歳	236	37.7	6.4	0.4	2.1	33.5	6.8	13.1
	75～79歳	202	26.7	4.0	0.0	3.5	38.6	6.9	20.3
	80～84歳	167	26.3	3.6	0.0	6.0	26.9	7.2	29.9
	85～89歳	57	15.8	1.8	0.0	1.8	26.3	10.5	43.9
	90歳以上	12	8.3	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	50.0
女性	65～69歳	299	36.8	2.7	1.3	6.4	34.8	4.7	13.4
	70～74歳	287	26.5	3.1	1.4	4.5	36.2	4.5	23.7
	75～79歳	317	16.1	2.5	0.9	6.6	31.2	3.8	38.8
	80～84歳	198	10.1	2.0	0.0	2.5	25.3	7.6	52.5
	85～89歳	87	3.4	0.0	0.0	2.3	23.0	5.7	65.5
	90歳以上	26	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	7.7	61.5

問20-1 【就労意向のある方】希望する働き方

図表 3.60 希望する働き方



※その他【抜粋】

- ・内職
- ・ボランティア
- ・大学の非常勤講師

就労意向のある人の希望する働き方は、「会社経営、自営業を継続」が36.2%で最も高く、次いで「非常勤、嘱託、パート、アルバイト、家業手伝い」が35.0%、「常勤の社員・職員」が8.0%となっています。

性別・年齢別にみると、「男性」の「65～89歳」は「会社経営、自営業を継続」が最も高くなっています。「70～74歳」は、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト、家業手伝い」が並んで最も高くなっています。

「女性」の「65～79歳」は、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト、家業手伝い」が最も高く、「80～84歳」は、「会社経営、自営業を継続」が最も高くなっています。

就労継続希望年齢を年齢別にみると、年齢が上がるほど就労を継続する希望年齢も上がる傾向にあります。

図表 3.61 希望する働き方/性別・年齢別

項目	回答者数(人)	常勤の社員・職員(フルタイムでの勤務)	非常勤、嘱託、パート、アルバイト、家業手伝い(短時間での勤務)	会社経営、自営業を継続	起業、独立開業、自由業(文筆業等)など	シルバー人材センター	その他	無回答	
全体	686	8.0	35.0	36.2	4.5	7.6	4.4	4.4	
男性	65～69歳	146	15.1	28.1	39.0	6.8	6.2	2.1	2.7
	70～74歳	105	11.4	35.2	35.2	3.8	7.6	4.8	1.9
	75～79歳	62	1.6	19.4	51.6	6.5	12.9	4.8	3.2
	80～84歳	50	2.0	20.0	48.0	6.0	10.0	6.0	8.0
	85～89歳	10	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	90歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	65～69歳	122	8.2	56.6	21.3	1.6	6.6	2.5	3.3
	70～74歳	89	3.4	38.2	30.3	3.4	10.1	6.7	7.9
	75～79歳	62	6.5	35.5	33.9	4.8	6.5	6.5	6.5
	80～84歳	24	0.0	25.0	50.0	4.2	4.2	12.5	4.2
	85～89歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
	90歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-

図表 3.62 【就労意向のある方】就労継続希望年齢/年齢別

単位：%

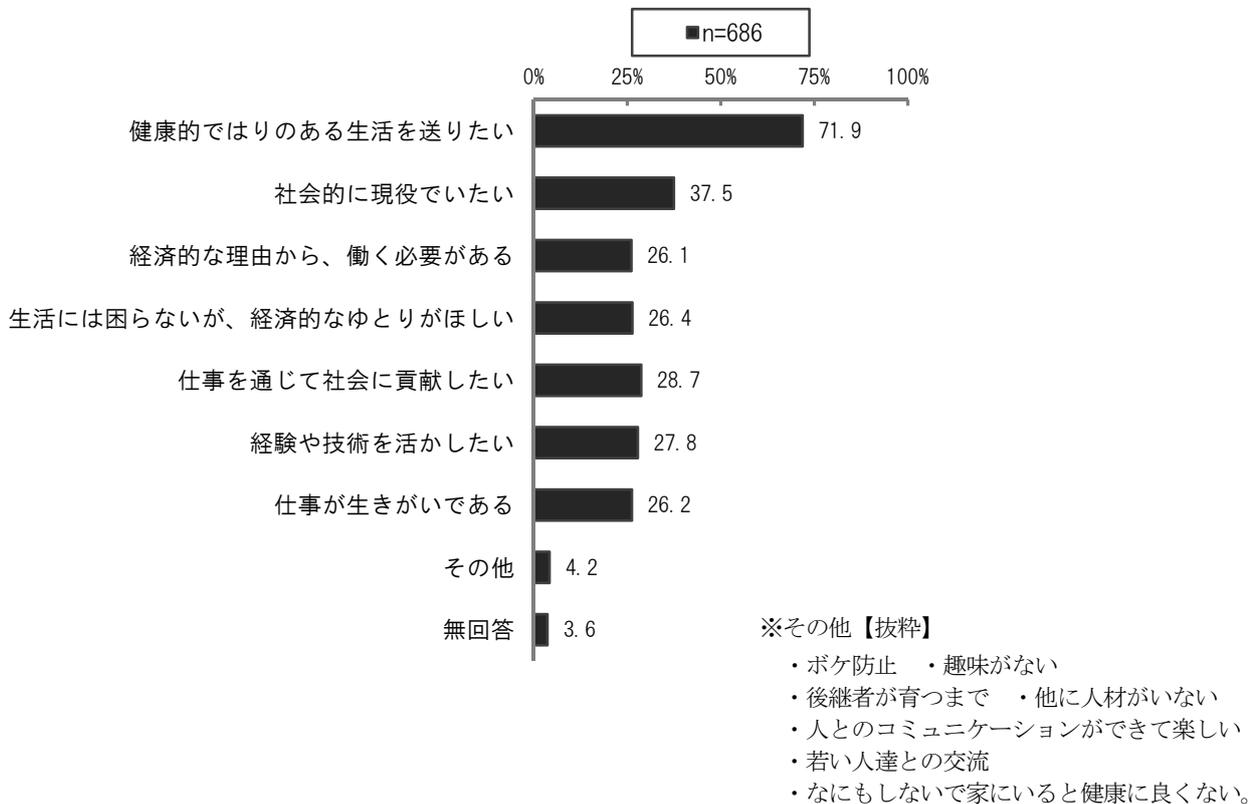
項目	回答者数(人)	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答	
全体	686	7.6	28.6	29.7	18.1	16.0	
年齢別	65～69歳	271	16.2	46.5	21.8	5.9	9.6
	70～74歳	195	3.1	30.3	43.6	5.6	17.4
	75～79歳	124	0.8	7.3	41.1	29.8	21.0
	80～84歳	74	0.0	1.4	6.8	66.2	25.7
	85～89歳	14	0.0	0.0	7.1	71.4	21.4
	90歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 20-2 【就労意向のある方】仕事をしたい（し続けたい）理由

仕事をしたい（し続けたい）理由は、「健康的ではりのある生活を送りたい」が71.9%で最も高く、次いで「社会的に現役でいたい」が37.5%、「仕事を通じて社会に貢献したい」が28.7%、となっています。

性別・年齢別にみると、「男性」、「女性」の「65～84 歳」は「健康的ではりのある生活を送りたい」が、ともに最も高くなっています。

図表 3.63 仕事をしたい（し続けたい）理由（複数回答）



図表 3.64 仕事をしたい（し続けたい）理由（複数回答）/性別・年齢別

単位：%

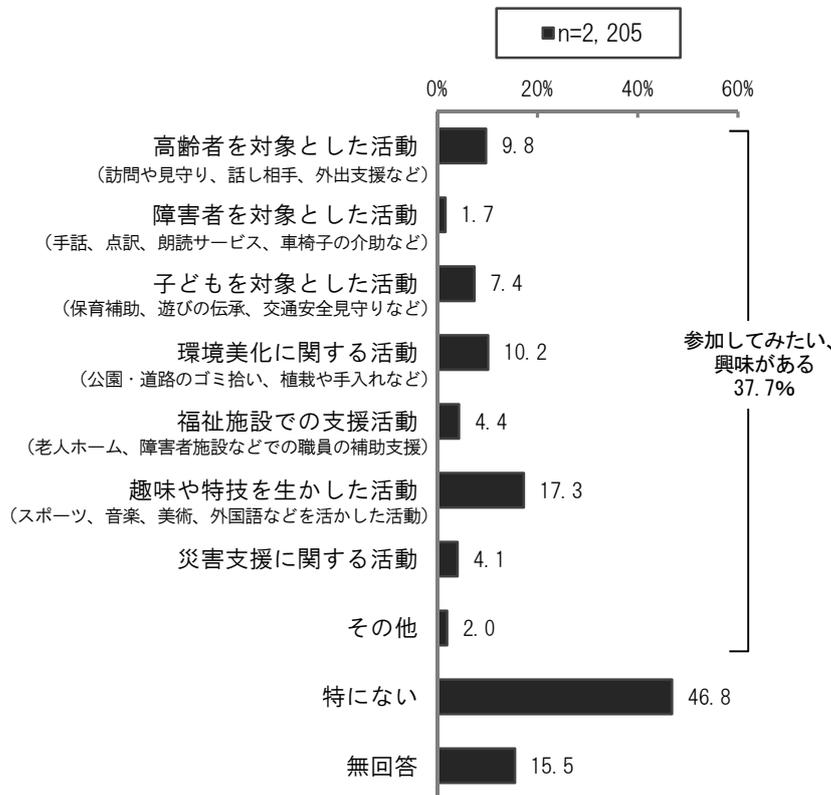
項目	回答者数 (人)	健康的ではりのある生活を送りたい	社会的に現役でいたい	経済的な理由から、働く必要がある	生活には困らないが、経済的なゆとりがほしい	仕事を通じて社会に貢献したい	経験や技術を活かしたい	仕事が生きがいである	その他	無回答	
全体	686	71.9	37.5	26.1	26.4	28.7	27.8	26.2	4.2	3.6	
男性	65～69 歳	146	75.3	46.6	23.3	38.4	33.6	35.6	19.9	3.4	2.1
	70～74 歳	105	69.5	40.0	20.0	27.6	27.6	25.7	25.7	3.8	1.9
	75～79 歳	62	67.7	41.9	30.6	27.4	35.5	38.7	35.5	6.5	4.8
	80～84 歳	50	76.0	34.0	30.0	18.0	32.0	18.0	36.0	8.0	6.0
	85～89 歳	10	40.0	30.0	10.0	30.0	30.0	30.0	50.0	0.0	0.0
	90 歳以上	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
女性	65～69 歳	122	76.2	27.0	32.8	25.4	24.6	24.6	23.0	2.5	2.5
	70～74 歳	89	66.3	29.2	27.0	20.2	21.3	18.0	22.5	5.6	5.6
	75～79 歳	62	69.4	32.3	29.0	19.4	25.8	21.0	29.0	3.2	6.5
	80～84 歳	24	70.8	54.2	12.5	12.5	25.0	37.5	29.2	8.3	4.2
	85～89 歳	3	100.0	100.0	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0
	90 歳以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

10 地域とのつながり・地域活動について

問 21 参加してみたい、興味があるボランティア活動

ボランティア活動に参加してみたい、興味がある割合は37.7%で、「趣味や特技を生かした活動」が17.3%で最も高く、次いで「環境美化に関する活動」が10.2%、「高齢者を対象とした活動」が9.8%となっています。一方、「特にない」が46.8%となっています。

図表 3.65 参加してみたい、興味があるボランティア活動（複数回答）



※「参加してみたい、興味がある」=100%－「特にない」－「無回答」

※その他【抜粋】

- ・クラブ活動
- ・東大病院でボランティア
- ・若者の助けになりたい。
- ・文京区の環境、景観指導に関わりたい。
- ・外国人に対する日本語学習のボランティア活動
- ・ひとり親家庭の子供の食事作り等活動
- ・地域のボランティアガイド

参加してみたい、興味があるボランティア活動を圏域別にみると、いずれも「趣味や特技を生かした活動」が最も高く、圏域別の大きな差はみられません。

性別にみると、ともに「趣味や特技を生かした活動」が最も高く、「男性」が「女性」より6ポイント高くなっています。「環境美化に関する活動」、「災害支援に関する活動」は「男性」が4ポイント程度高く、「高齢者を対象とした活動」は「女性」が4ポイント程度高くなっています。

年齢別にみると、「65～84歳」は「趣味や特技を生かした活動」が最も高く、「85～89歳」は「高齢者を対象とした活動」、「環境美化に関する活動」がともに5.5%、「90歳以上」は「高齢者を対象とした活動」、「趣味や特技を生かした活動」がともに5.3%で最も高くなっています。

図表 3.66 参加してみたい、興味があるボランティア活動（複数回答）/圏域別/性別/年齢別 単位：%

項目	回答者数（人）	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	環境美化に関する活動	福祉施設での支援活動	趣味や特技を生かした活動	災害支援に関する活動	その他	特にない	無回答	
全体	2,205	9.8	1.7	7.4	10.2	4.4	17.3	4.1	2.0	46.8	15.5	
圏域別	富坂 地区	699	10.3	1.6	7.9	9.6	3.9	18.6	4.6	3.1	47.5	14.7
	大塚 地区	502	9.0	1.6	5.8	11.8	5.2	16.1	4.0	1.4	47.2	15.3
	本富士地区	467	9.2	2.8	8.4	10.7	3.6	17.6	5.4	1.5	45.2	15.0
	駒込 地区	537	10.2	0.9	7.6	8.9	4.8	16.4	2.4	1.5	47.1	17.1
性別	男性	950	7.6	1.2	7.2	12.5	3.5	20.8	6.4	2.2	50.1	10.6
	女性	1,227	11.3	2.0	7.4	8.2	5.0	14.8	2.3	1.8	44.3	19.4
年齢別	65～69歳	567	10.1	2.3	13.2	15.0	4.8	23.8	7.6	1.1	42.7	7.2
	70～74歳	528	12.9	2.5	6.6	12.1	7.0	20.1	4.5	1.7	43.8	13.6
	75～79歳	522	9.8	1.0	5.4	7.9	4.0	16.1	3.3	2.1	47.7	18.0
	80～84歳	368	7.3	1.4	5.7	6.3	1.9	11.7	0.5	3.5	52.2	20.7
	85～89歳	146	5.5	0.7	2.7	5.5	2.1	4.1	2.1	2.1	53.4	26.7
	90歳以上	38	5.3	0.0	2.6	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	60.5	28.9

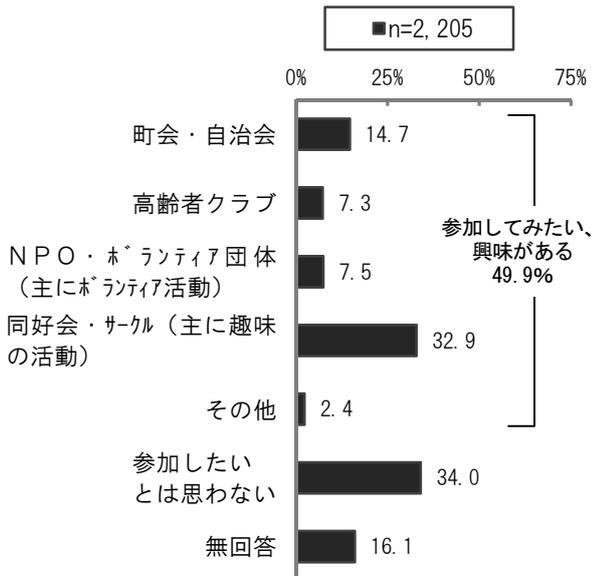
問 22 参加してみたい、興味がある活動団体やグループ

問 23 定期的に参加している活動団体やグループ

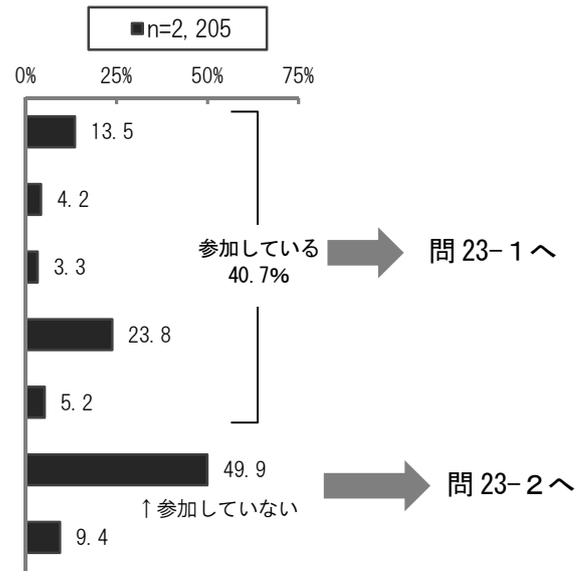
活動団体やグループに参加してみたい、興味がある割合は49.9%で、「同好会・サークル」が32.9%、「町会・自治会」が14.7%となっています。一方、「参加したいとは思わない」が34.0%となっています。

また、現在何らかの活動団体等に参加している割合は40.7%で、「同好会・サークル」が23.8%、「町会・自治会」が13.5%となっています。一方、「参加していない」割合は49.9%となっています。

図表 3.67 参加してみたい活動団体等（複数回答）



図表 3.68 参加している活動団体等（複数回答）



※「参加してみたい、興味がある」
=100% - 「参加したいとは思わない」 - 「無回答」

※その他【抜粋】

- ・介護予防体操
- ・災害防災ボランティア
- ・交通安全運動 など

※「参加している」
=100% - 「参加していない」 - 「無回答」

※その他【抜粋】

- ・体操教室
- ・大学の生涯学習
- ・社会貢献活動
- ・シルバー人材センター など

参加してみたい、興味がある活動団体等を圏域別にみると、いずれも「同好会・サークル」が最も高く、次いで「町会・自治会」となっています。「本富士地区」は「高齢者クラブ」が10.3%と他の圏域より高くなっており、「参加したいとは思わない」が29.8%で他の圏域に比べて最も低くなっています。

性別にみると、ともに「同好会・サークル」が最も高く、「参加したいとは思わない」は「男性」が37.6%で、「女性」より6.2ポイント高くなっています。

図表 3.69 参加してみたい活動団体等（複数回答）/圏域別/性別

単位：%

項目	回答者数 (人)	町会・自治会	高齢者クラブ	NPO・ボランティア団体 (主にボランティア活動)	同好会・サークル (主に趣味の活動)	その他	参加したいとは思わない	無回答	
全体	2,205	14.7	7.3	7.5	32.9	2.4	34.0	16.1	
圏域別	富坂 地区	699	15.5	6.2	9.0	34.0	2.7	34.5	13.4
	大塚 地区	502	12.4	5.8	6.8	32.1	2.2	37.8	16.9
	本富士地区	467	19.1	10.3	7.7	33.4	1.5	29.8	15.8
	駒込 地区	537	12.1	7.6	6.0	31.7	2.8	33.5	18.8
性別	男性	950	16.2	5.8	8.4	31.1	2.6	37.6	12.4
	女性	1,227	13.7	8.6	6.7	34.1	2.2	31.4	18.8

参加してみたい、興味がある活動団体等を年齢別にみると、「65～89歳」は「同好会・サークル」が最も高く、次いで「町会・自治会」となっています。「90歳以上」は「高齢者クラブ」が10.5%で最も高くなっています。

図表 3.70 参加してみたい活動団体等（複数回答）/年齢別 単位：%

項目	回答者数（人）	町会・自治会	高齢者クラブ	NPO・ボランティア団体（主にボランティア活動）	同好会・サークル（主に趣味の活動）	その他	参加したいとは思わない	無回答	
全体	2,205	14.7	7.3	7.5	32.9	2.4	34.0	16.1	
年齢別	65～69歳	567	18.5	4.8	10.6	36.0	2.6	36.0	8.8
	70～74歳	528	15.5	7.4	9.7	36.0	1.7	33.0	13.1
	75～79歳	522	13.2	8.6	6.1	33.3	2.5	30.7	19.9
	80～84歳	368	12.5	7.6	3.5	26.1	3.0	35.6	22.0
	85～89歳	146	11.6	11.0	3.4	30.8	2.7	34.2	21.2
	90歳以上	38	5.3	10.5	2.6	7.9	0.0	47.4	28.9

参加している活動団体等を性別にみると、ともに「同好会・サークル」が最も高く、「女性」が「男性」より6.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「同好会・サークル」が最も高くなっています。「参加していない」割合は「65～74歳」、「90歳以上」が50%を超えています。

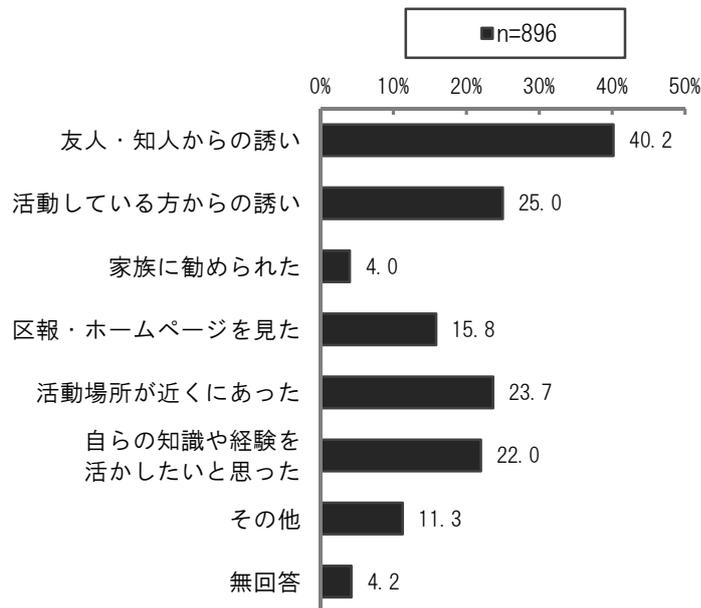
図表 3.71 参加している活動団体等（複数回答）/性別/年齢別 単位：%

項目	回答者数（人）	町会・自治会	高齢者クラブ	NPO・ボランティア団体（主にボランティア活動）	同好会・サークル（主に趣味の活動）	その他	参加していない	無回答	
全体	2,205	13.5	4.2	3.3	23.8	5.2	49.9	9.4	
性別	男性	950	15.9	2.7	4.2	20.3	5.7	52.4	7.5
	女性	1,227	11.8	5.5	2.5	26.7	4.8	47.8	10.9
年齢別	65～69歳	567	16.6	2.3	3.5	20.6	5.5	55.4	4.2
	70～74歳	528	13.3	3.2	5.1	25.2	4.7	51.3	6.8
	75～79歳	522	13.4	4.2	2.5	27.0	4.8	46.2	12.1
	80～84歳	368	11.4	6.5	1.6	25.0	6.3	46.2	12.5
	85～89歳	146	12.3	8.9	2.1	19.9	5.5	45.2	17.1
	90歳以上	38	0.0	7.9	0.0	15.8	5.3	52.6	21.1

問 23- 1 【参加している方】参加している活動を始めたきっかけ

活動を始めたきっかけは、「友人・知人からの誘い」が40.2%で最も高く、次いで「活動している方からの誘い」が25.0%、「活動場所が近くにあった」が23.7%となっています。

図表 3.72 参加している活動を始めたきっかけ（複数回答）



※その他【抜粋】

- ・必要なものと思った。
- ・歩行困難になり、運動をしようと思った。
- ・区の職員と話し合って決めた。
- ・社会とつながりたい。多少の体と脳を使うことにより自分の健康に役立つ。
- ・新聞を見て入会した。
- ・少年期から継続している。

性別にみると、ともに「友人・知人からの誘い」が最も高く、「女性」が「男性」より 6.3 ポイント高くなっています。「区報・ホームページを見た」、「活動場所が近くにあった」は「女性」が9ポイント以上高く、「自らの知識や経験を活かしたいと思った」は「男性」が 6.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「友人・知人からの誘い」が最も高くなっています。

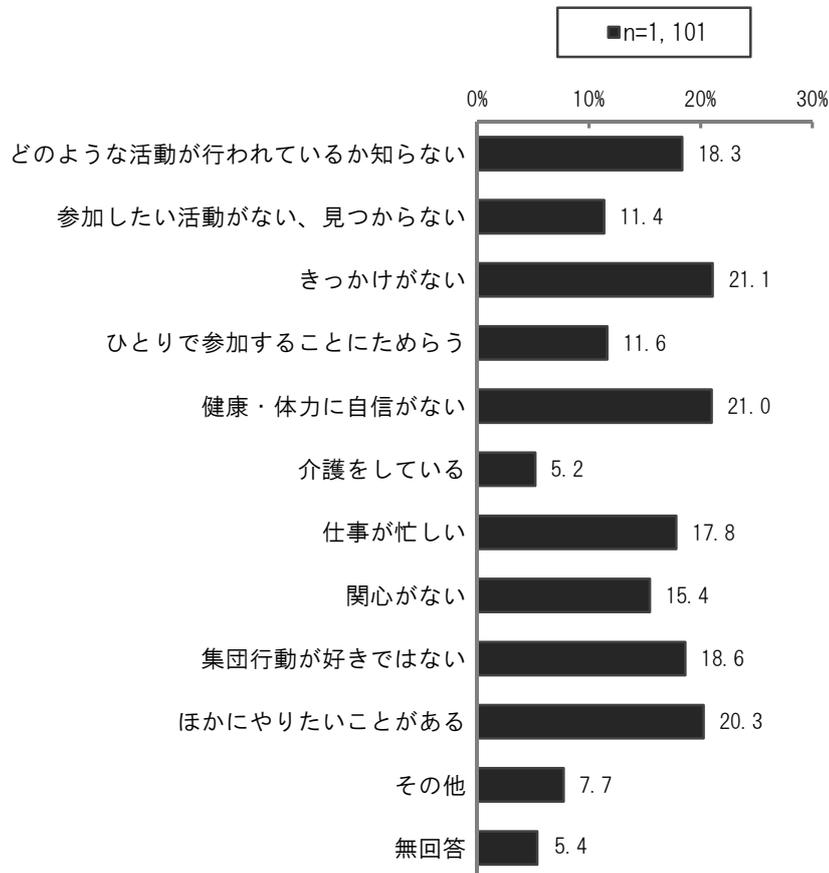
図表 3.73 参加している活動を始めたきっかけ（複数回答）/性別/年齢別 単位：%

項目	回答者数 (人)	誘い	活動	家族	区報・	活動	自らの	その他	無回答	
		友人・知人からの	している方からの	に勧められた	ホームページを見た	場所が近くにあった	知識や経験を活かしたいと思った			
全体	896	40.2	25.0	4.0	15.8	23.7	22.0	11.3	4.2	
性別	男性	381	36.7	27.6	6.3	10.0	18.4	25.7	10.8	5.0
	女性	507	43.0	23.1	2.4	19.9	27.8	18.9	11.8	3.7
年齢別	65～69 歳	229	38.9	26.6	4.4	14.4	26.6	19.7	10.9	3.9
	70～74 歳	221	41.2	28.5	3.6	18.6	29.0	22.6	10.0	2.7
	75～79 歳	218	41.3	22.5	5.5	17.4	23.9	21.1	13.3	3.7
	80～84 歳	152	40.1	21.1	0.7	13.8	17.1	23.7	9.9	6.6
	85～89 歳	55	41.8	27.3	5.5	12.7	9.1	23.6	12.7	5.5
	90 歳以上	10	40.0	10.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0

問 23-2 【参加していない方】 現在活動団体やグループに参加していない理由

活動団体等に参加していない理由は、「きっかけがない」が21.1%で最も高く、次いで「健康・体力に自信がない」が21.0%、「ほかにやりたいことがある」が20.3%となっています。

図表 3.74 活動団体等に参加していない理由（複数回答）



※その他【抜粋】

- ・よくお誘いがあるのでフリーにしておきたい。
- ・定期的に出席できないので。
- ・家庭の中のことを色々聞かれることがイヤ。
- ・組織に拘束されたり、気遣いがわずらわしいので。
- ・日本語が分からない。

活動団体等に参加していない理由を性別にみると、「男性」は「きっかけがない」が21.5%で最も高く、「女性」は「健康・体力に自信がない」が24.2%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」は「仕事が忙しい」が27.7%で最も高く、次いで「ほかにやりたいことがある」が23.6%となっています。「70～74歳」は「きっかけがない」が23.6%で最も高く、次いで「集団行動が好きではない」、「ほかにやりたいことがある」がともに20.7%となっています。「75歳以上」は「健康・体力に自信がない」が最も高くなっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は「ほかにやりたいことがある」が35.5%で最も高く、「どちらかといえば健康」と思う人は「きっかけがない」が24.1%で最も高くなっています。一方、「健康ではない」と思う人は「健康・体力に自信がない」が54.4%で最も高くなっています。

図表 3.75 活動団体等に参加していない理由（複数回答）/性別/年齢別/健康感別 単位：%

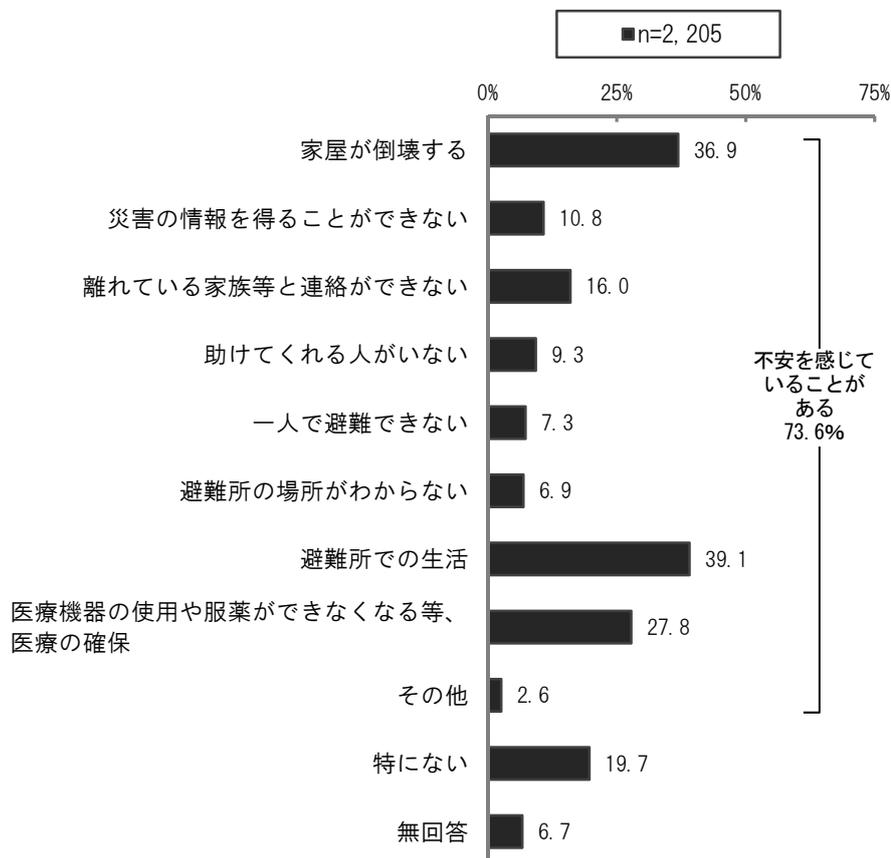
項目	回答者数（人）	どのよう	参加し	きつ	ひとり	健康・	介護	仕事	関心	集団	ほかに	その他	無回	
		な活動	たい活	かけが	りで参	・体力	をして	が忙し	がない	行動が	にやり		答	
		が行わ	動がな	がない	加する	に自信	いる	い	い	が好き	たいこ			
		れて	い、見	い	こと	がない				ではな	がある			
		い	つから	きつ	めら	い				い				
		らな	ない	かけ	う	い				い				
		い	い	がない		い				い				
		い	い	い		い				い				
全 体	1,101	18.3	11.4	21.1	11.6	21.0	5.2	17.8	15.4	18.6	20.3	7.7	5.4	
性別	男 性	498	20.5	12.4	21.5	9.0	17.3	3.4	19.5	20.1	19.5	20.3	6.4	4.2
	女 性	586	16.9	10.8	20.3	13.5	24.2	6.8	16.2	11.9	17.9	20.3	8.9	6.1
年齢別	65～69歳	314	20.7	13.1	23.2	11.5	12.7	5.7	27.7	15.0	19.4	23.6	5.1	1.9
	70～74歳	271	19.6	12.9	23.6	14.4	18.5	4.1	18.8	18.8	20.7	20.7	8.9	3.7
	75～79歳	241	20.3	11.6	21.2	9.5	26.1	4.1	14.5	12.9	17.0	17.8	7.9	7.5
	80～84歳	170	12.9	7.6	17.1	11.2	27.6	6.5	10.6	15.3	15.9	21.2	7.1	9.4
	85～89歳	66	12.1	6.1	13.6	6.1	33.3	7.6	6.1	13.6	19.7	10.6	13.6	7.6
	90歳以上	20	10.0	5.0	10.0	5.0	30.0	0.0	0.0	25.0	10.0	15.0	25.0	5.0
健康感別	とても健康	155	13.5	9.7	16.1	7.1	1.9	1.9	28.4	18.7	14.2	35.5	9.7	5.8
	どちらか	663	20.1	12.1	24.1	13.1	14.6	6.8	17.0	15.2	20.8	21.4	7.1	4.7
	といえば健康	173	16.8	10.4	17.9	11.6	45.1	3.5	15.0	13.9	15.6	7.5	9.2	8.1
	あまり健康	90	20.0	10.0	14.4	8.9	54.4	3.3	8.9	17.8	17.8	7.8	7.8	3.3
ではない														
健康では														
ない														

11 災害について

問 24 災害に関して不安に感じていること

災害に関して不安に感じていることがある割合は 73.6%で、「避難所での生活」が 39.1%で最も高く、次いで「家屋が倒壊する」が 36.9%、「医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保」が 27.8%となっています。

図表 3.76 災害に関して不安に感じていること（複数回答）



※「不安を感じていることがある」=100%－「特になし」－「無回答」

※その他【抜粋】

- ・大規模火災、停電
- ・犬を連れて避難所に入れないと思うので不安
- ・携帯電話を持っていない、メールなど使えない。
- ・高層階にいるので避難できるか否かもわからない。
- ・自分のことは自分で守るしかないと考えている。
- ・停電でATMが使用できなくなる。

災害に関して不安に感じていることを世帯構成別にみると、上位2項目は変わらず、「ひとり暮らし」、「夫婦のみ（いずれか65歳未満ほか）」、「二世帯（いずれか65歳未満ほか）」、「三世帯以上（いずれか65歳未満ほか）」、「その他（いずれか65歳未満ほか）」世帯は「避難所での生活」が最も高く、「夫婦のみ（65歳以上）」、「二世帯等（全員65歳以上）」世帯は「家屋が倒壊する」が最も高くなっています。また、「ひとり暮らし」世帯は、「助けてくれる人がいない」が23.8%で他の世帯より高くなっています。

健康感別にみると、「とても健康」と思う人は、「家屋が倒壊する」が31.4%で高くなっていますが、一方で「特にない」も33.1%となっています。「どちらかといえば健康」、「あまり健康ではない」と思う人は、「避難所での生活」がそれぞれ41.2%、43.6%で最も高く、「健康ではない」と思う人は、「医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保」が47.7%で最も高くなっています。

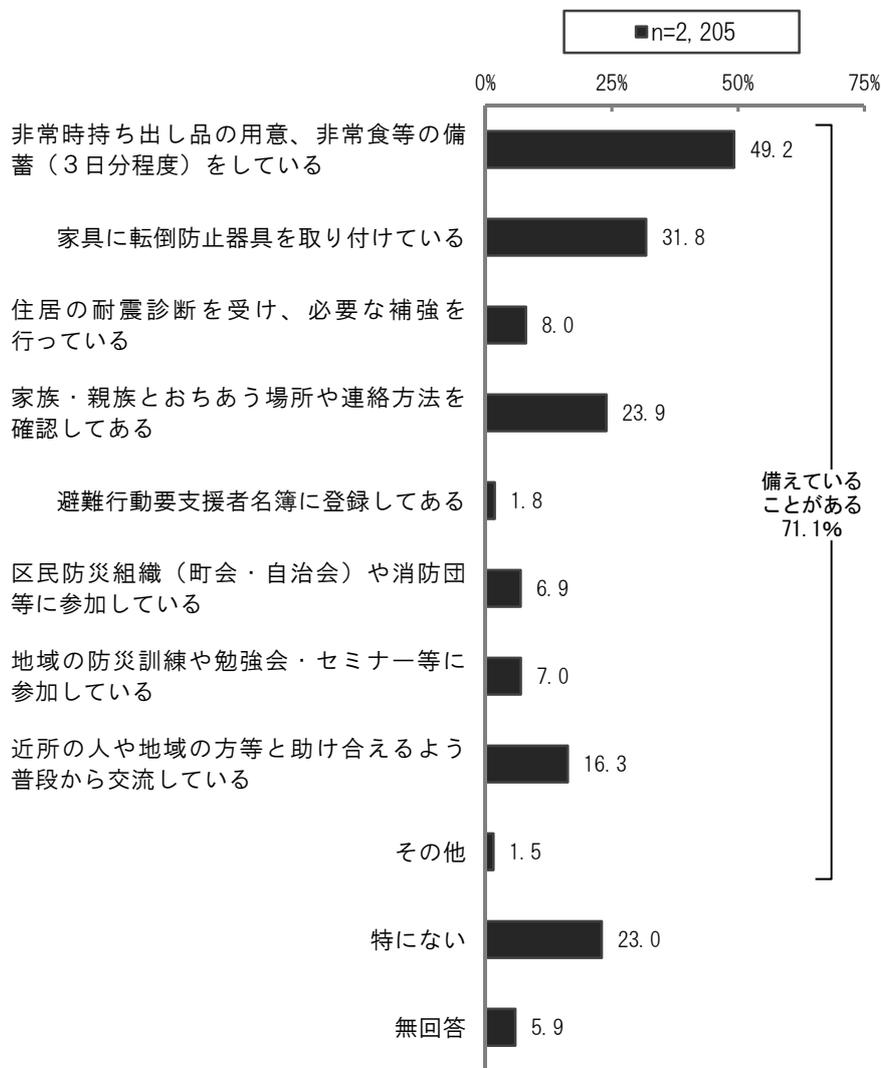
図表 3.77 災害に関して不安に感じていること（複数回答）/世帯構成別/健康感別 単位：%

項目	回答者数(人)	家屋が倒壊する	災害の情報を得ることができない	離れている家族等と連絡ができない	助けてくれる人がいない	一人で避難できない	避難所の場所がわからない	避難所での生活	医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保	その他	特にない	無回答	
全体	2,205	36.9	10.8	16.0	9.3	7.3	6.9	39.1	27.8	2.6	19.7	6.7	
世帯構成別	ひとり暮らし	500	31.4	10.6	16.2	23.8	10.2	11.4	37.8	21.8	2.0	18.2	9.2
	夫婦のみ(65歳以上)	736	40.5	11.3	18.6	6.9	6.3	6.3	40.4	31.3	2.4	18.2	5.0
	二世帯等(全員65歳以上)	87	41.4	11.5	18.4	5.7	3.4	9.2	33.3	29.9	2.3	24.1	4.6
	夫婦のみ(いずれか65歳未満ほか)	113	32.7	6.2	15.0	4.4	5.3	6.2	35.4	25.7	2.7	25.7	6.2
	二世帯(いずれか65歳未満ほか)	539	36.7	11.7	13.2	3.3	5.4	4.8	40.3	29.1	3.5	21.5	6.7
	三世帯以上(いずれか65歳未満ほか)	174	37.9	10.9	10.9	1.1	9.8	4.0	40.2	27.6	2.3	19.5	6.3
	その他(いずれか65歳未満ほか)	26	46.2	0.0	23.1	3.8	7.7	3.8	50.0	19.2	3.8	11.5	11.5
	健康感別	とても健康	360	31.4	7.5	13.1	5.0	0.3	2.2	28.3	13.1	2.8	33.1
どちらかといえば健康	1,343	37.4	11.8	17.4	8.9	6.0	7.4	41.2	26.9	2.7	18.5	6.8	
あまり健康ではない	312	43.3	11.2	13.8	11.9	15.7	7.4	43.6	40.4	1.6	13.8	5.1	
健康ではない	130	37.7	10.0	14.6	14.6	19.2	12.3	36.9	47.7	3.8	15.4	3.8	

問 25 災害発生時に備えて行っていること

災害発生時に備えて行っていることがある割合は71.1%で、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が49.2%で最も高く、次いで「家具に転倒防止器具を取り付けている」が31.8%、「家族・親族とおちあう場所や連絡方法を確認してある」が23.9%となっています。一方、「特にない」の割合は23.0%となっています。

図表 3.78 災害発生時に備えて行っていること（複数回答）



※「備えていることがある」=100%－「特にない」－「無回答」

※その他【抜粋】

- ・ 堅固の建物の家に避難させてもらう。
- ・ 小石川消防署のボランティアに入っている。
- ・ 寝室には家具を置かない。風呂の水は抜かない。
- ・ 町会に入り、近所の方々とおつきあいをしている。
- ・ マンションでの防災訓練などに参加している。
- ・ 非常時持ち出し品の一部用意、転倒防止器具一部取り付け済

災害発生時に備えて行っていることを住居形態別にみると、いずれも「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が最も高くなっていますが、「借家」は26.8%で他の住居形態より低くなっています。

健康感別にみると、いずれも「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が最も高くなっていますが、「健康ではない」と思う人は「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が30.8%で他より低く、「特にない」が34.6%で他より高くなっています。

定期的に参加している活動団体等別にみると、いずれも「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が最も高くなっています。次いで、「町会・自治会」に参加している人は、「近所の人や地域の方等と助け合えるよう普段から交流している」が40.3%となっています。また、「参加していない」人は「特にない」が30.2%で、他より高くなっています。

図表 3.79 災害発生時に備えて行っていること（複数回答）

/住居形態別/健康感別/定期的に参加している活動団体等（複数回答）別

単位：%

項目	回答者数（人）	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	家族・親族とおちあう場所や連絡方法を確認してある	避難行動要支援者名簿に登録してある	区民防災組織（町会・自治会）や消防団等に参加している	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	近所の人や地域の方等と助け合えるよう普段から交流している	その他	特にない	無回答	
全体	2,205	49.2	31.8	8.0	23.9	1.8	6.9	7.0	16.3	1.5	23.0	5.9	
住居形態別	持ち家（一戸建て）	1,230	49.5	32.6	10.0	25.0	1.3	8.0	6.6	18.5	1.5	22.0	5.0
	分譲マンション	610	53.1	36.1	7.5	25.1	3.3	5.9	8.9	13.8	1.6	19.3	5.7
	借家（一戸建て）	41	26.8	22.0	2.4	17.1	0.0	2.4	0.0	14.6	0.0	39.0	12.2
	民間の賃貸マンション、アパート	181	42.0	21.0	0.0	22.1	0.6	3.3	3.3	11.6	1.1	34.3	8.3
	公営賃貸住宅	61	42.6	18.0	1.6	14.8	3.3	3.3	4.9	14.8	1.6	36.1	4.9
	その他	41	51.2	29.3	9.8	14.6	2.4	2.4	9.8	14.6	4.9	22.0	14.6
健康感別	とても健康	360	52.2	27.8	10.6	24.7	0.8	8.3	9.4	19.2	1.1	24.2	4.7
	どちらかといえば健康	1,343	50.9	33.4	8.2	25.8	1.7	7.0	6.9	16.2	1.9	20.9	5.9
	あまり健康ではない	312	47.4	32.1	6.4	20.5	3.8	7.4	7.1	15.1	0.6	26.0	5.4
	健康ではない	130	30.8	27.7	3.1	14.6	0.8	4.6	3.1	10.0	2.3	34.6	6.2
活動団体等（複数回答）別	町会・自治会	298	54.7	34.9	9.7	28.9	1.7	32.9	28.9	40.3	0.3	12.4	4.0
	高齢者クラブ	93	46.2	32.3	6.5	31.2	5.4	28.0	29.0	38.7	1.1	11.8	7.5
	NPO・ボランティア団体（主にボランティア活動）	72	54.2	43.1	16.7	23.6	1.4	18.1	22.2	27.8	0.0	11.1	1.4
	同好会・サークル（主に趣味の活動）	525	55.4	35.2	10.3	28.8	2.7	10.9	10.5	22.5	2.5	15.6	4.0
	その他	115	60.9	40.9	12.2	27.8	2.6	7.0	8.7	24.3	8.7	11.3	4.3
	参加していない	1,101	47.1	30.6	6.4	22.8	1.4	1.4	2.1	9.1	1.2	30.2	4.0